

保存版



東温市

災害から命を守る

防災

マップ



あなたの

“防災力”は、どのくらいですか？

チェックしよう!

- 地震発生時の行動がイメージできる
- 初期消火の仕方を知っている
- 非常持ち出し品、備蓄品を準備している
- 自宅の耐震診断、耐震化をしている
- 家具や家電を固定している
- AEDの使い方を知っている
- 土砂災害の前兆現象を知っている
- 災害用伝言ダイヤルが使える
- 地域の防災訓練などに参加している
- 自宅周辺の危険箇所や避難所を把握している

防災の第一歩は、自分や家族、地域の防災力を知ることから始まります。
 知らないことやはっきり分からないことがあったら、
 「東温市防災マップ」で確認してください。

Contents [目次]

第1章 地震

地震のときの行動マニュアル 2P

- 1. 南海トラフ巨大地震と東温市 8P
- 2. 住まいの安全対策 12P
- 3. 防災対策の効果 14P

火災のときの行動マニュアル 16P

第2章 風水害&土砂災害

- 1. 台風・集中豪雨の注意点 18P

台風・集中豪雨のときの行動マニュアル 19P

- 2. 土砂災害の注意点 22P

土砂災害のときの行動マニュアル 23P

- 3. 孤立集落の注意点 24P

集落が孤立したときの行動マニュアル 25P

第3章 備え

- 1. 避難情報と避難場所 26P
- 2. わが家の防災セット 28P
- 3. 災害時の連絡方法 30P
- 4. 避難行動要支援者への対応 31P
- 5. オリジナル防災マップを作ろう 32P
- 6. 災害時に役立つ応急手当 33P
- 7. 自主防災組織・消防団 34P
- 8. 防災マップ作成のためのワークショップ開催 36P

東温市防災マップ

- 地図凡例・索引 37P
- 地域ハザードマップ 38P
- 洪水(氾濫)ハザードマップ 68P

防災の専門家から東温市の皆さんへ

いつ地域全体を壊滅させるような大規模災害に見舞われても、不思議ではありません。

現在、日本は千年に一度の大規模地震発生の時期を迎えており、地球温暖化に伴い頻発している異常気象の脅威にもさらされています。深刻な被害をもたらした東日本大震災や広島土石流災害の発生は記憶に新しいところですが、東温市も例外ではありません。

目には見えませんが、東温市の地下には日本でも第一級の活断層である中央構造線が東西に走っています。もし南海トラフ巨大地震が発生すれば、震度6強の強い揺れに襲われます。また東温市に広がる平野は、重信川で繰り返し発生した土石流堆積物により形成されたものであり、そのため、いつ東温市を壊滅させるような大規模地震や気象災害に見舞われても不思議ではありません。

だからこそ災害への備えは“待ったなし”です。その第一歩は「敵を知り、己を知る」ことですが、災害が発生してからでは遅いのです。皆さんが手にされる「東温市防災マップ」を繰り返し読んでいただき、来る大規模自然災害への十分な備えをお願いします。自分の命と家族の命を守るのはあなた自身だということを認識し、地域住民全員の命を守るために行動してください。

愛媛大学防災情報研究センター長 矢田部 龍一

第1章「地震」

～生死を分ける一瞬の判断～

地震のときの行動マニュアル

地震はある日突然やってきます。そのとき生死を分けるのは「とっさの行動」。いざというとき慌てず行動できるよう、普段から対処法をシミュレーションしておきましょう。

1. ゆれた! [地震発生直後]

身の安全を守る!

転倒や破損の恐れのある家具や冷蔵庫、窓ガラスなどから離れて、すぐにテーブルや机の下に入る。適当な場所がなければ**座布団**や**クッション**などで頭を保護する。



2. おさまった! [1分~3分]

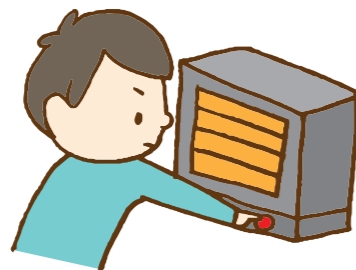
靴や厚手のスリッパを履く!

家の中を確認して回る前に、ガラスの破片や散乱物から足を守るため**靴や厚手のスリッパ**を履く。足をケガすると避難場所への移動や避難生活に困る。



火の始末をする!

小さな揺れの場合は直ちに、大きな揺れの場合はおさまるのを待ってから**ガスやストーブの火**を消す。大きな揺れの最中に火に近づくとケガをする恐れがあり危険。



逃げ道を確保する!

揺れが激しいとドアや窓が開かなくなり、室内に閉じ込められることがあるので、次の余震が来る前にドアや窓を開けて脱出口を確保する。**トイレや浴室**ではすぐにドアを開ける。



POINT!

「キッチンから離れる」

冷蔵庫や電子レンジ、食器など、災害時に凶器になるものがたくさんあるので、**揺れを感じたらすぐに離れて**ください。

POINT!

「慌てて外に飛び出さない」

屋外はガラスや瓦、看板などが落ちてくる可能性があり危険です。ただし**古い木造家屋の1階**は倒壊の恐れがあるので、頭上に注意しながら速やかに外に出ましょう。

3. 少し落ち着いたら! [3分~10分]

家族の安全を確認する!

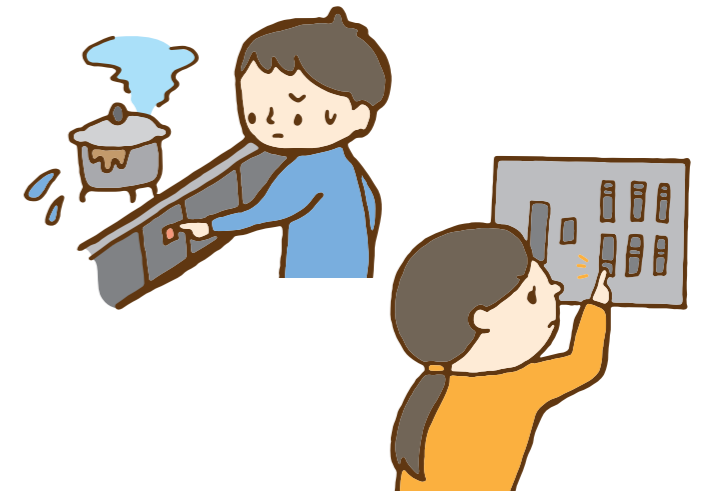
家族が**家具などの下敷き**になっていないか、ケガをしていないかを確認。トイレや浴室に閉じ込められていないかも確認する。



火元を確認&初期消火する!

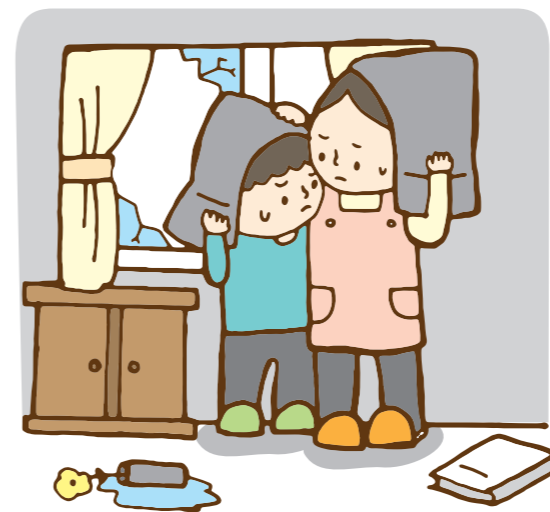
ガスの元栓を閉め、**電気のブレーカー**を落とす。もし火が出ていたら消火器や濡らした毛布、シーツなどで消火。火が大きくなったら速やかに避難。

⇒ 初期消火については16P・17P参照



余震に注意を払う!

過去には震度6を超える余震も。**ヘルメットや防災ずきん**があれば家の中でも装着し、身の安全の確保が難しい作業はしばらく控える。



危険があればすぐ避難する!

大きな揺れの場合、**昭和56年(1981)以前建築の木造住宅**は倒壊の危険性がある。特に1階に居る場合は落下物に気を付けながら、すぐに屋外に避難する。土砂災害の危険箇所にある家も同様。



POINT!

「金属片で助けを呼ぶ」

建物に閉じ込められ、助けを呼ぶときは、大きな声を出す体力を消耗するので、**金属片**などを使い、音を出して存在を伝えましょう。

POINT!

「連絡は「171」を活用する」

基地局の停波や電話回線の集中などにより、携帯電話はつながりにくくなります。**固定電話や公衆電話、災害用伝言ダイヤル「171」**を利用しましょう。⇒ 30P参照

4. 次の行動を考える! (10分~1時間)

飲料水を確保する!

水道の水が出るうちにバスタブやバケツ、水筒、空のペットボトルなどに水を確保する。**料理や水洗トイレなどにも必要**なので、少しでも多く貯めておく。



ご近所の安全を確認する!

隣近所に声をかけて家具などの下敷きになっていないか、倒壊した家屋に取り残されていないか、火災は起きていないかなどを確認する。特に**高齢者や障がい者、小さな子どもがいる家庭**には気を配る。



火災発見時は大声を出す!

「火事だ!」と大声で周りに知らせることが、**消火器確保や119番通報への協力、避難のため**にも重要。その後、消火器やバケツリレーなどで初期消火を行う。



正しい情報を入手する!

このまま自宅に留まるべきか、避難所に行くべきかの判断が必要。**テレビ、ラジオ、防災行政無線**などで正確な情報を集める。

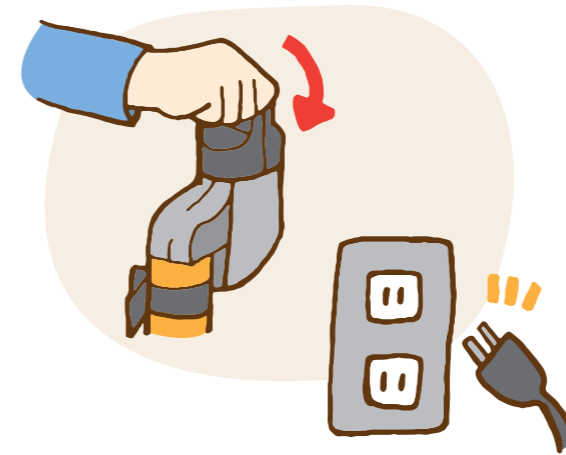
⇒ 避難情報については26P参照



5. 必要なら避難開始 (1時間~1日)

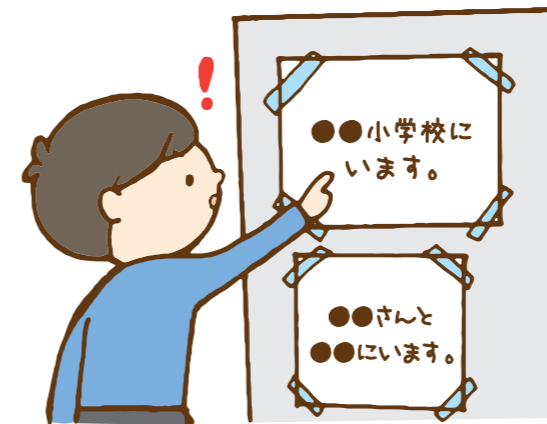
ガスと電気の供給を絶つ!

ガスの元栓を閉める。**電気器具は、電気復旧時に火災の原因となる**ので、スイッチを切り、コンセントを抜いた上でブレーカーを落とす。



災害情報、被害情報を収集する!

避難所の災害掲示板に情報が貼り出されたら、内容を確認。家族や知人、地域の情報を正確に入手し、正しい判断や行動ができるようにする。



最小限の荷物で歩いて移動する!

最初の1日をしのぐために必要な荷物と貴重品を持ち、歩いて移動する。ヘルメットや防災ずきんなどで頭を保護し、丈夫な履物と動きやすい服装で、安全な道を選ぶ。

⇒ 非常持ち出し品リストについては28P・29P参照



飲料水・食料を確保する!

避難所生活が長引きそうで、自宅に飲料水や食料の備蓄がある場合は取りに帰る。ただし、**倒壊した家や倒壊の恐れのある家には決して入らない**。



POINT!

「日頃から近所付き合いを」

ご近所の家族構成や「誰がどこで寝起きしているのか」を知っていれば、安否確認や救出活動がスムーズに行えます。

POINT!

「頼れるのは自分・家族・ご近所」

大規模災害では消防や警察、自衛隊などの**救助・救援まで数日かかる**ことがあります。いざというときは家族やご近所で助け合いましょう。

POINT!

「車での移動は控える」

震災直後は交通規制などにより、車での移動が制限されることがあります。また**道路の陥没や高架の倒壊**の可能性もあるので、できるだけ歩いて避難しましょう。

POINT!

「避難は明るいうちに」

歩き慣れた道でも、街灯が壊れると夜は大変危険です。**道路の亀裂や散乱物が見えずにケガをする**恐れがあるので、できるだけ明るいうちに避難しましょう。

6.外出中に被災した!

勤務中や出張中、旅行中に地震が起こることも十分考えられます。海岸沿いや地下街、高層ビル街などでの対処法も把握しておきましょう。

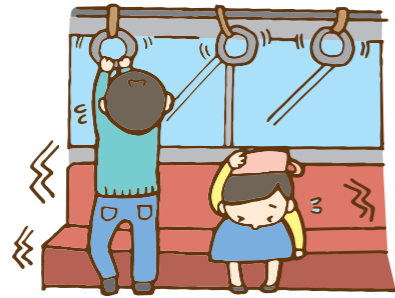
運転中の急ブレーキはNG!

揺れを感じたらしっかりとハンドルを押さえ、**ハザードランプを点灯**させて徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車する。エンジンを切り、揺れがおさまるまで車外に出ず、**ラジオから情報を入手**する。



電車・バスでは急停車に備える!

乗車中に揺れを感じる規模なら、電車もバスも緊急停車する可能性が高い。立っているときは**手すりなどにしっかり掴まり**、座っているときは姿勢を低くして**頭をカバンなどで保護**。停車後は乗務員の指示に従う。



路上では塀や自販機から離れる!

住宅街や繁華街の路上を歩いているときは、**ブロック塀や石垣、自動販売機**から離れる。ショーウィンドーのガラスにも注意。



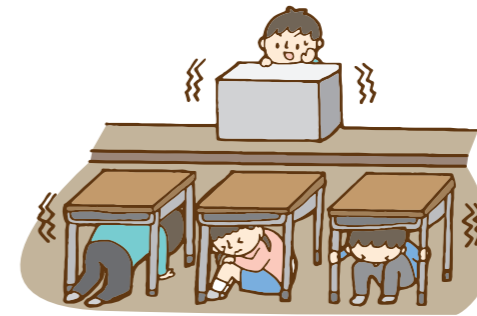
職場では机の下に!

窓から離れ、机などの下に入る。OA機器や書棚の転倒に注意。木造の古い建物の1階にいて揺れを感じた場合は、頭上に注意しながら外へ出る。



教室では机の下、運動場では真ん中に!

学校で教室にいるときは**机の下などに入る**。体育館や運動場などでは**真ん中に集まってしゃがむ**。揺れがおさまったら先生の指示に従い、落ち着いて避難する。



買い物中は陳列棚から離れる!

ショーケースや陳列棚、窓などを避け、階段やエレベーターホールなど比較的安全な場所に移る。**バッグや買い物かごで頭を保護**しながら、階段で避難する。



海岸・川べりでは、すぐに高い所へ!

津波から逃げるために、**大きな揺れを感じたらすぐに安全な高台を目指す**。津波は川をさかのぼり、勢いを増すので、川沿いから離れて避難する。近くに高台がなければ高い建物の屋上に避難する。

⇒ 津波については15P参照



山・丘陵地では、すぐに平地へ!

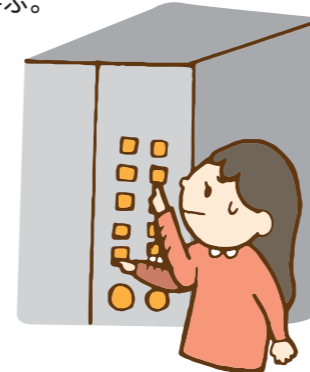
山にいるときは、**まず落石に注意**。揺れがおさまっても地盤が緩み、崩れやすくなっているので、**崖や急傾斜地は避け**、可能であれば安全を確保しつつできるだけ早く平地に移動する。

⇒ 土砂災害については22P・23P参照



エレベーターはすぐ降りる!

すべての階のボタンを押し、**最初に止まった階で降りる**。揺れがおさまっても避難は階段を使う。閉じ込められたら**非常ボタン**を押して、助けを呼ぶ。



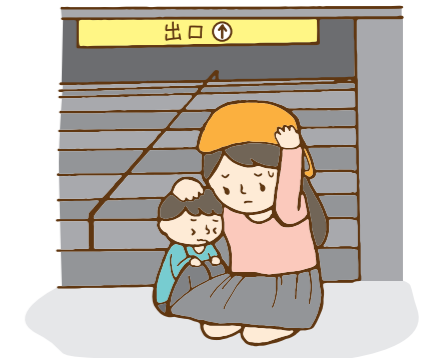
映画館・劇場では頭上を守る!

柱が少ないホールでは**天井や照明器具などの落下**に注意。座席の背もたれよりも姿勢を低くし、**バッグなどで頭を保護**する。揺れがおさまったら係員の指示に従う。



地下街では出口に殺到しない!

バッグなどで頭を保護し、揺れがおさまるのを待つ。**出口に殺到すると危険**なので、落ち着いて行動する。



POINT!
「車を置いて避難するときは」

車にキーを付けたまま、ドアをロックせずに窓を閉め、連絡先を見えるところに書き、**車検証を持って避難**しましょう。

POINT!
「オフィスビルの割れたガラスに注意」

ビジネス街や繁華街では、地震で割れた窓ガラスが降ってくる恐れがあります。大きな揺れを感じたら新しいビルの1階に避難しましょう。

POINT!
「よく行く場所は非常口を確認」

近所のスーパーなどよく行く場所は、一度、非常口を確認しておきましょう。**行き慣れている場所も**停電したら視界や行動が制限されます。

コラム -Column-

帰宅困難者になってしまったら・・・

交通機関がマヒし、道路が大渋滞になってしまったら、歩いて帰宅の方が早いケースがあります。その場合は次のことに注意してください。

- 災害時に歩いて移動できる距離の目安は10km程度
- 水分補給はこまめに。職場に非常持ち出し袋を常備するのがベスト
- スニーカーなど歩きやすい靴があれば履き替える
- 移動するなら明るいうちに。“移動しない”という選択肢も考える
- コンビニなど「帰宅支援ステーション」のトイレ、水道水、道路情報を活用

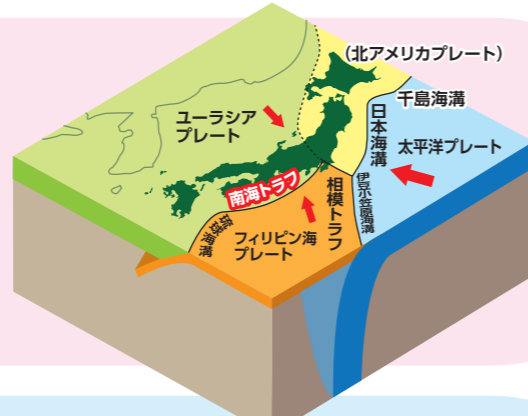
※ 普段から徒歩での帰宅ルートを想定し、一度、歩いてみると危険箇所や帰宅支援ステーションなどの場所が把握でき、いざというときに役立ちます。

1. 南海トラフ巨大地震と東温市

海より高く、三方を山に囲まれた東温市は、これまで「災害の少ない地域」と言われてきましたが、巨大地震が発生する可能性が報告されています。その被害予想をご紹介します。

南海トラフとは…

南海トラフとは、日本列島のある大陸プレートの下に、南側からフィリピン海プレートが沈み込んでいる場所で、年間数cmの割合で沈み込んでいます。2つのプレートの間に蓄積されたひずみによるエネルギーは、約100年間隔で解放され、その度に**巨大地震が発生**しています。



地震発生確率は…

これまで南海トラフを震源とする地震は、被害が想定される地域ごとに「南海地震」「東南海地震」「東海地震」に分けて考えられてきましたが、国では南海トラフ全体を一つの領域と考え、地震発生の可能性を発表しました。それによると、**30年以内に発生する確率が70%**と大変高い数値になっています。

- 想定される地震規模
マグニチュード **8～9** クラス
- 30年以内に発生する確率 **70%**
- 平均発生間隔 **88.2**年

東温市の震度&被害予想は…

地盤の柔らかい谷や重信川沿いでは主に震度6弱、地盤の硬い山地部でも震度5強の大きな揺れが予想されています。天候など地盤の条件により、**最大震度6強の恐れ**もあります。古い木造家屋の多い地区では揺れによる建物被害が大きく、その結果、多数の死傷者・避難者が出る懸念されています。

南海トラフ巨大地震による東温市の被害予想

平成25年12月26日愛媛県発表
愛媛県地震被害想定調査結果(最終報告)から一部抜粋
[地震規模の想定…マグネチュード9.0 冬]

最大震度	6強 ⇒ 10P参照	
建物被害	全壊棟数	4,286棟
	半壊棟数	4,391棟
人的被害	死者数	126人
	負傷者数	1,277人
	避難者数 1日後	5,199人 (うち避難所に3,119人が避難)
	1週間後	11,876人 (うち避難所に5,938人が避難)
	要援護者数	641人
	帰宅困難者数	8,424人
上水道被害	断水人口 31,873人	断水率 97.7%
電力被害	停電件数 16,766軒	停電率 98.7%
固定電話被害	不通回線数 27,869回線	98.7%

- 5軒に2軒が全壊もしくは半壊
- 292人に1人が死亡
- 29人に1人が負傷
- 3人に1人が避難(1週間後)

要援護者：高齢の方や障がいのある方、乳幼児など災害時に援護が必要な方

コラム -Column-

南海トラフ巨大地震だけではない！市の真下を走る断層による直下型地震にも要注意！！
東温市の中央部の直下に中央構造線を構成する断層の一つである「川上・小松断層」が、東西約43kmの長さで走っています。南海トラフ巨大地震と比べると規模(マグネチュード)は小さいですが、震源が近い揺れが大きく、甚大な被害をきたします。最大震度は6強が予想されています。なお阪神・淡路大震災(1995年)を引き起こしたのは直下型地震で最大震度は7でした。 ⇒ 11P参照



地震による揺れ

※気象庁震度階級関連解説表より作成。震度階級0～2は記載を省略。

震度	震度3	震度4	震度5弱	震度5強
人の体感・行動	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。歩いている人の中には、揺れを感じる人もいる。	ほとんどの人が驚く。眠っている人のほとんどが、目を覚ます。	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
屋内・屋外の状況	棚にある食器類が音を立てることがある。電線が少し揺れる。	つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる。電線が大きく揺れる。	つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。座りの悪い置物の大半が倒れる。固定していない家具が移動することがある。まれに窓ガラスが割れて落ちることがある。道路に被害が生じることも。	棚にある食器類や書棚の本で、落ちる物が多くなる。テレビが台から落ちることがある。固定していない家具が倒れることも。窓ガラスが割れて落ちたり、補強されていないブロック塀が崩れたり、据付不十分な自動販売機が倒れることがある。車の運転は困難。

建物やライフラインの状況

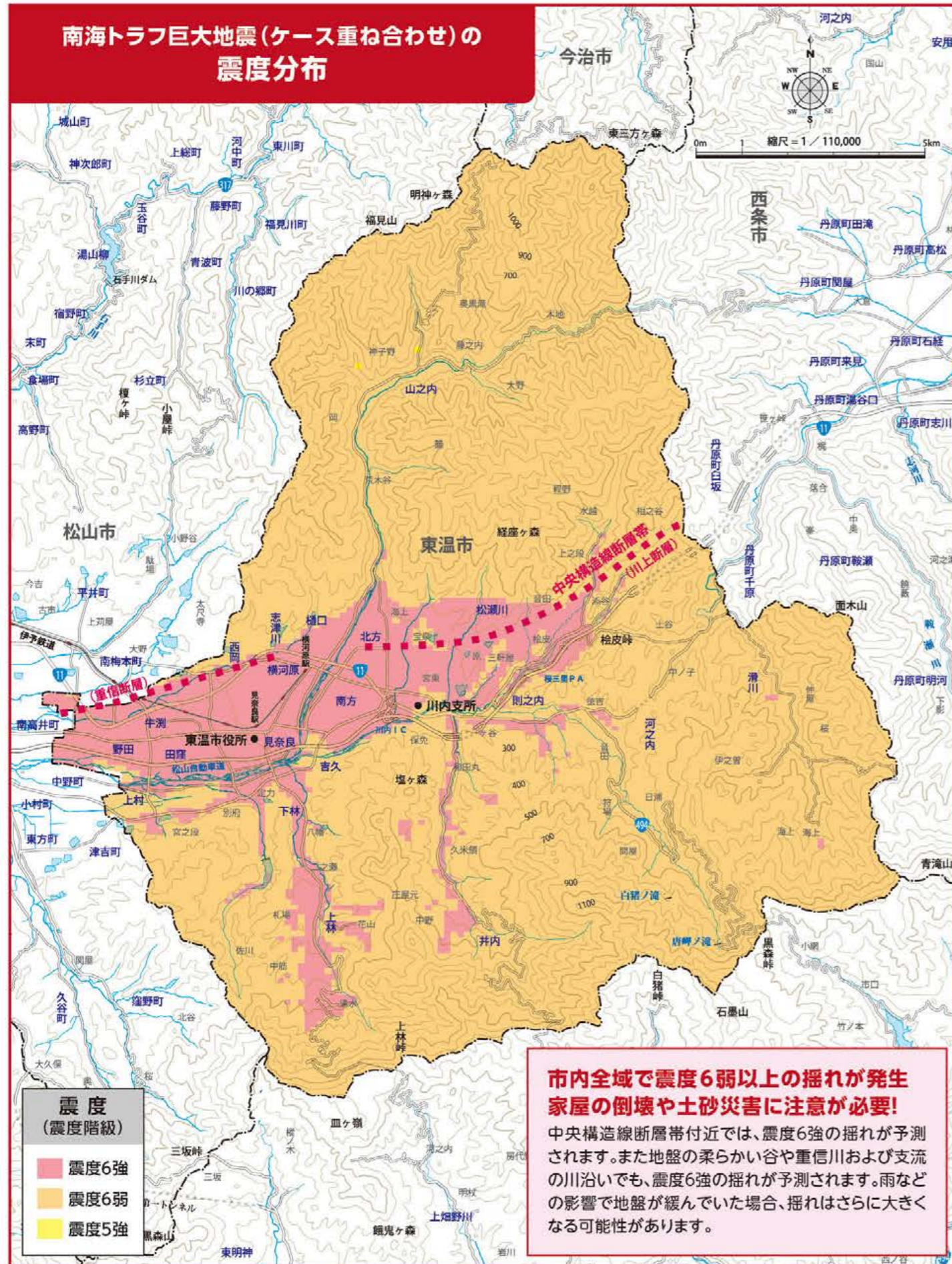
耐震性の低い木造建築は、倒壊の危険性が高い。倒壊まで至らないものも傾いたり瓦などの落下が起こる。鉄筋コンクリート建造物は壁、梁、柱などの部材にひび割れ・亀裂が入る。がけ崩れや地すべり、ガス供給の停止、断水・停電、電話など通信障害が発生。中山間地域の小・大規模孤立が発生する。

震度6弱	震度6強	震度7
立っていることが困難になる。	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	
固定していない家具の大半が移動し、倒れるものも。ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。	固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが倒れる。	固定していない家具のほとんどが移動したり倒れたりし、飛ぶこともある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物がさらに多くなる。

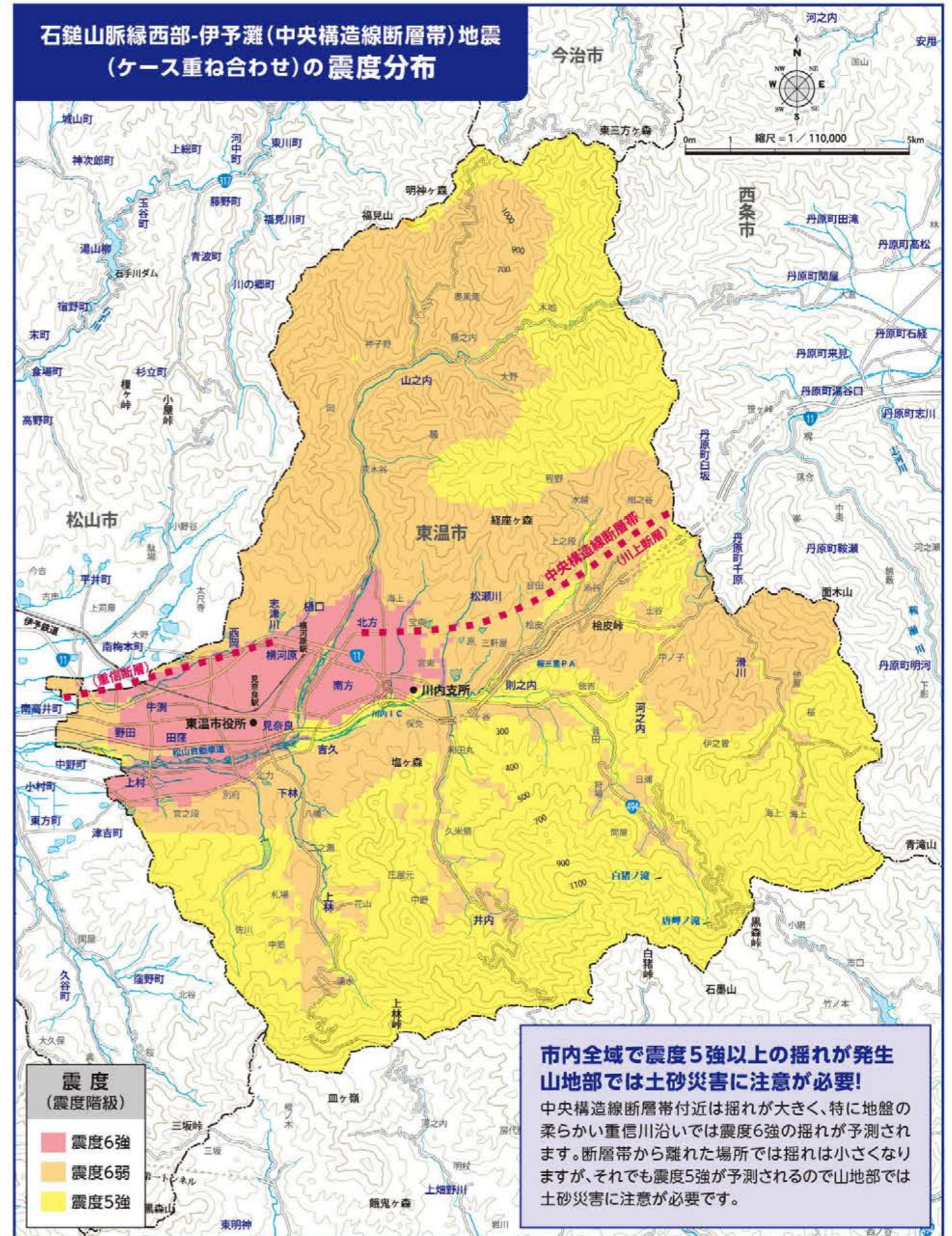
近い将来に発生が予想されている南海トラフ巨大地震、石鎚山脈縁西部-伊予灘(中央構造線断層帯)地震について、それぞれ

地震発生時の震度分布を示します。

※中央構造線断層帯()は、国土地理院が発表している「都市圏活断層図」を参考に表示しています。活断層図の詳細は、国土地理院ホームページで確認することができます。
http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/10_shikoku.html



出典:愛媛県地震被害想定調査



出典:愛媛県地震被害想定調査

2. 住まいの安全対策

阪神・淡路大震災(1995年)は明け方に発生したこともあり、犠牲者の8割以上が「家屋・住宅の倒壊による圧死・窒息死」でした。地震に強い家に住むことが生死を左右します。

地震に強い家の条件①

建物の強度

昭和56年以前の建物は古い耐震基準で建てられているため、強度不足が懸念されます。今すぐ専門家による耐震診断を行い、強度をチェックしてください。“強度不足”と判断された場合、建物の弱い部分を補強する耐震補強なら、費用が抑えられ、工期も短縮できます。

まずは確認! 耐震診断チェックシート

チェックしよう!

誰でもできるわが家の耐震診断

※(財)日本建築防災協会HPより作成

該当する項目にチェックを入れてください。

- Q1 昭和56年(1981)5月以前の建物である
- Q2 大きな災害に遭遇したことがある
- Q3 増築したことがある
- Q4 老朽化している。または白蟻の被害がある
- Q5 建物の平面がL字やT字など複雑な形である
- Q6 大きな吹き抜けがある
- Q7 1階と2階の壁面が一致していない
- Q8 1階外壁の東西南北のうち、壁が全くない面がある
- Q9 比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない
- Q10 基礎が鉄筋コンクリートの布基礎、ベタ基礎、杭基礎以外である

「Q1」にチェックが入っている方や**該当する項目が複数**ある方は、専門家による耐震診断をお勧めします。

東温市木造住宅耐震診断補助事業

東温市では木造住宅の耐震診断費用の一部を補助しています。詳しくは「都市整備課(964-4412)」までお問い合わせください。

必要なら対策! 耐震補強

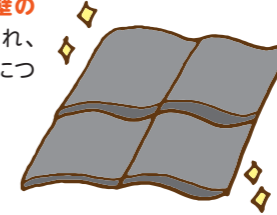
ひと部屋だけ耐震化

家全体の耐震補強が困難な場合、ひと部屋だけでも補強して安全な空間を作れば、いざというときに逃げ込む場所になる。



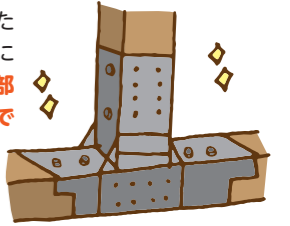
屋根の軽量化

瓦をスレートや鉄板などの軽い材料に替えることで**柱や壁の負担が軽減**され、耐震性の向上につながる。



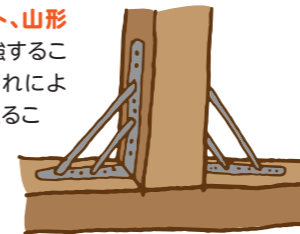
腐朽部分の補強

老朽化や白蟻被害などで劣化した部材を部分的に取り替え、**接合部をプレートなどで補強**。



接合部の補強

火打金物、制震金物、筋かいプレート、山形金物などで補強することで、地震の揺れによるひずみに耐えることができる。



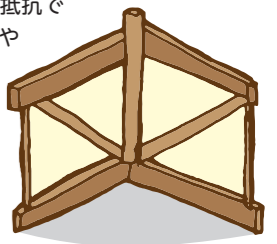
基礎の補強

耐震性に乏しい無筋コンクリートに、新たに鉄筋コンクリート造の**基礎を抱き合わせる**ことで土台を補強。



壁の補強

想定される地震力に抵抗できる耐力壁の量を増やしたり、バランスよく配置することで強度が増す。**壁に筋かいを入れる**のも有効。



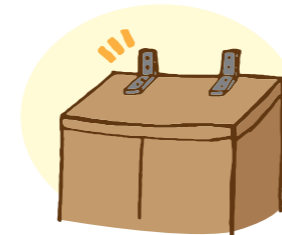
地震に強い家の条件②

家の中の安全

建物の倒壊が防げたとしても、家具の転倒や家電製品の落下、ガラスの飛散などによりケガをしたり、逃げ道がふさがれることがあります。家具の固定や配置を工夫することで、安全性が高まるだけでなく、**避難や援助活動もスムーズ**になります。

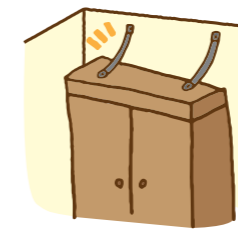
家具・家電の転倒・落下防止

タンスや本棚、食器棚など**背の高い家具は、耐震金具**を利用して固定しましょう。冷蔵庫やテレビなどの家電は専用の転倒防止器具が用意されている場合もあるので確認し、設置の際に活用してください。



L型金具

家具と壁を直接固定するタイプ。賃貸住宅には不向き。



ベルト式・チェーン式器具

家具と壁にそれぞれネジ止めた金具を、ベルトやチェーンで結ぶタイプ。背の低い家具や冷蔵庫、電子レンジに適する。



ポール式器具(つっぱり棒)

家具と天井のすき間に設置する棒状のタイプ。壁などを傷つけずに固定できる。

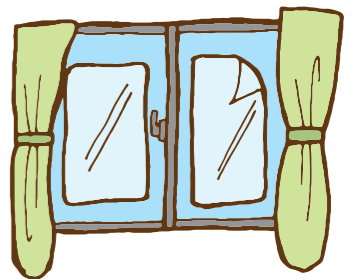


ストッパー式器具

家具の前方下部に挟み、壁側に傾斜させるタイプ。

ガラスの飛散・食器の飛び出し対策

窓ガラスや食器棚のガラスに「**飛散防止シート**」を貼り付けましょう。食器類の飛び出しを防ぐには食器棚に「**滑り止めシート**」を敷いたり、開き戸式の戸棚に「**留め金**」を付けるのが有効です。



安全空間の確保

長時間過ごす寝室やリビングなどには背の高い家具を置かないなど、**配置を工夫**することで安全空間を確保しましょう。

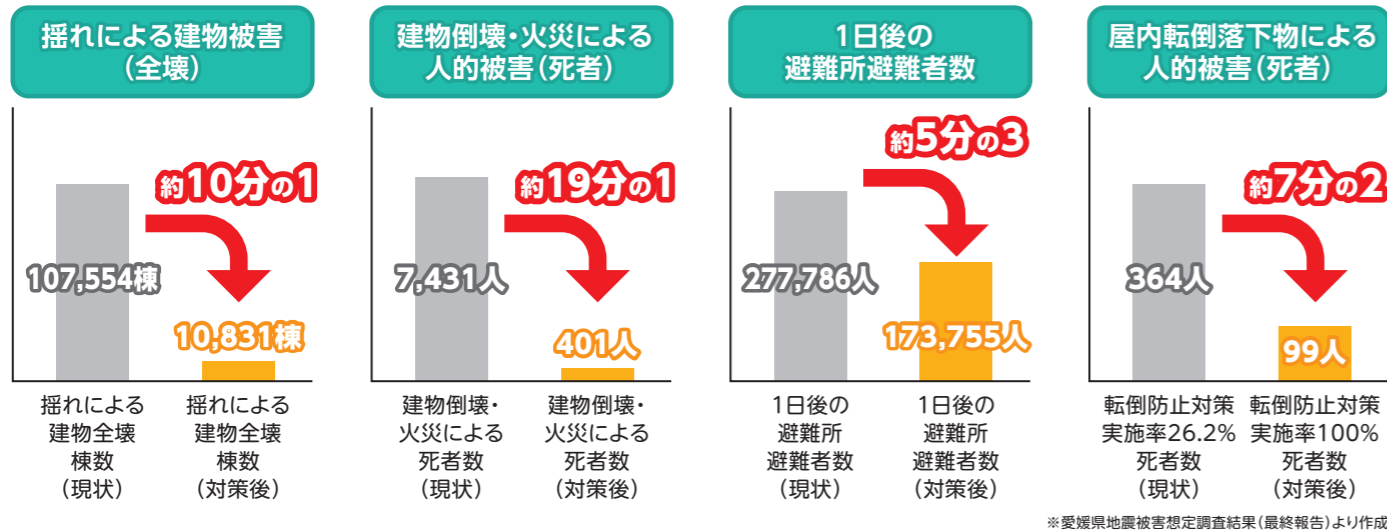


安全性を高めるために、**1つより2つ!** 転倒防止器具は複数で使いましょう。

3. 防災対策の効果

平成25年に愛媛県が発表した「愛媛県地震被害想定調査結果(最終報告)」によると、旧耐震基準の建物の耐震化率が100%になれば、建物の全壊棟数は約1/10に、揺れ・火災による死者数は約1/19に軽減できます。また家具などの転倒・落下防止対策の実施率が100%になれば、屋内での転倒落下物による死者数は2/7に軽減できます。

	現状(平成20年度時点)	目標
県内の住宅の耐震化率	71.4%	100%
全国の家具などの転倒・落下防止対策実施率	26.2%	100%



※愛媛県地震被害想定調査結果(最終報告)より作成

コラム -Column-

身近な防災対策

ブロック塀の倒壊は人的被害のみならず、道路をふさぎ、避難や救助・消火活動の妨げになります。小さなものでも高所から落下すれば凶器になり危険です。日頃から家の周りの安全にも注意しましょう。



ブロック塀
鉄筋が入っていないものは補強が、ひび割れや傾きがあるものは修理が必要。

屋根
屋根瓦にひび割れやずれ、はがれがあるものは補強が必要。

ベランダ
手すりの上に物を置いたり、外側に吊るすのは落下の恐れがあるので危険。植木鉢や物干し竿などは固定する。

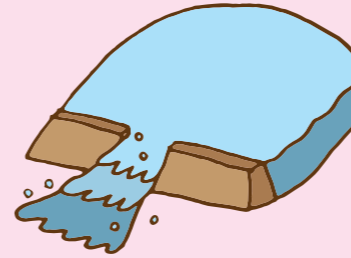
Voice

専門家の声

巨大地震ではココにも注意!

いつどこで巨大地震に遭遇するかは分かりません。予備知識を頭に入れ、危険を回避もしくは被害を軽減しましょう。

■ ため池の決壊 ⇒ 危険箇所を事前に把握しておく



愛媛県には3,255ヶ所(平成26年3月時点、農村振興局調べ)のため池がありますが、その約70%は江戸時代以前に築造されたと推測されており、一部では老朽化が心配されています。東日本大震災ではため池の決壊による死者も出ており、大規模地震や集中豪雨に備えた整備が急務になっています。

| 行動マニュアル |

- 地域によっては「ため池ハザードマップ」を制作しているの、決壊の恐れがあるため池の場所や被害がおよぶ範囲を把握しておく。
[東温市ため池ハザードマップ]
<http://www.city.toon.ehime.jp/nourin/tameikehaza-do>
- 地震や集中豪雨のときは、できるだけ近づかない。
- ため池の堤体に亀裂や漏水などを見つけたら、速やかに地元土地改良区、市役所や消防団などに連絡する。

■ 津波 ⇒ より高いところに避難する



海岸に近い低地や川沿い、島しょ部では津波の危険性があり、東日本大震災では死者の9割が津波によるものでした。愛媛県では南海トラフ巨大地震が発生した場合、津波による死者は8,184人と予想しており、建物倒壊による死者(6,210人)を上回っています。

津波に関するマーク



| 行動マニュアル |

- 大きな揺れを感じたらすぐに安全な高台に移動。
- 川沿いからもすぐに離れる。
川を遡る津波に対しては、川の流れに対して直角方向に避難する。
- 近くに高台がなければ高い建物の屋上に避難。
- 津波は繰り返してきて、第二波、第三波の方が大きいことも。注意報や警報が解除されるまで、海辺や河川に近づかない。

■ 原子力災害 ⇒ 外気を遮断し、肌の露出を減らす



愛媛県には原子力発電所があります。万が一、原子力発電所で事故が起きたときは、正しい情報入手し、適切な行動を取りましょう。

| 行動マニュアル |

- ラジオやテレビ、防災行政無線などから正しい情報入手し、デマに惑わされないように。
- 屋内退避の指示が出たらドアや窓を全部閉め、換気扇やエアコンも止めて外気を遮断する。
- 外出先から帰宅したら顔や手を洗い、衣服を着替えてビニール袋に入れる。
- 避難指示が出たら肌の露出をできるだけ少なくするため、帽子、長袖、長ズボンを着用して避難する。レインコートやマスクも有効。

火災のときの行動マニュアル

古い木造建築が多い地域では、地震による火災にも注意が必要です。東温市では巨大地震により4,286棟が全壊すると予想されていますが、約半数の2,065棟は火災によるものです。

1. 自宅から火が出た! [火災発見直後]

① 大声で叫び周囲に知らせる!

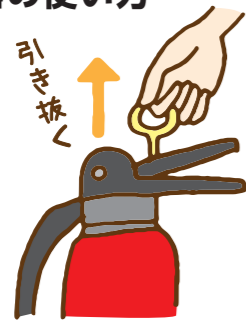
ご近所の人を避難させるためにも、**まずは大声で「火事だ!」**と叫び知らせる。気付いた人が消火器を持ってきてくれたり、119番へ通報してくれることも期待できる。



② 初期消火を行う!

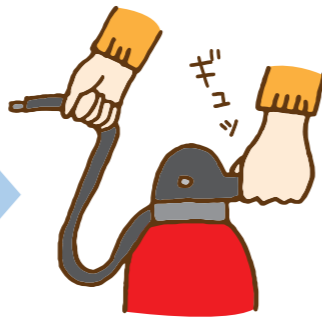
被害を最小限に抑えるために最も重要なのが初期消火。日頃から防災訓練に積極的に参加し、**消火器の使い方などをマスターしておく**と落ち着いて行動ができる。また火の大きさが自分の身長を超えていたら、初期消火をあきらめ速やかに避難し、119番通報する。

■ 消火器の使い方



手順1

黄色の安全栓(ピン)を上引き抜く



手順2

ホースをはずして火元に向け、レバーを握って消火する

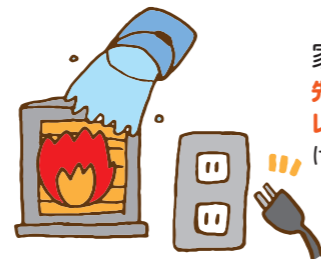
※家庭用消火器は射程距離が3~5m、噴射時間は10~15秒

■ 消火器がない場合(火元別消火法)



天ぷら油

絶対に水をかけないこと。バスタオルやシーツを濡らして絞り、天ぷら鍋の上にそっとかぶせるか、鍋の大きさに合うフタをかぶせて消火する。すぐにガスを消し、元栓を止めて、油の温度が下がるまでバスタオルやシーツはそのままだ。



家電製品

先にコンセントを抜くかブレーカーを落とし、水をかけて消火する。



毛布、布団

消えたように見えても中がくすぶっていることがあるので、**何度もたっぷり水をかけて**徹底的に火種を消す。



カーテン、ふすま

延焼を防ぐために**床に引き倒してから消火する。**

2. 炎が天井まで広がった!

速やかに避難を開始!

初期消火に失敗して、炎が天井に届くほど大きくなったなら、**消火を諦めて避難**する。火の回りを遅らせるために燃えている部屋の扉を閉め、屋外に出る。**一度出たら絶対に戻らないこと。**



煙が出たら姿勢を低く!

黒い煙は有害性が高いので吸い込むと咳き込み、呼吸困難になる恐れが。**姿勢を低くし、タオルなどで口と鼻を覆いながら逃げる。**

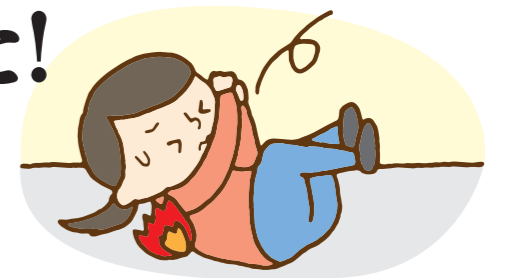


3. 衣服に火がついた!

すぐに地面に転がる!

衣服に火が付いたら地面に転がるようにして、火を叩き消す。

⇒ やけどについては33P参照



消火活動

地震により出火したら、消火器やくみ置きの水で消火活動を。自主防災組織が協力して**バケツリレー**などによる初期消火にあたります。ただし、あくまで火災の延焼防止が目的ですので、決して無理せず、**消防団員や消防署員が到着したら、その指示に従いましょう。**

東温市の年間火災状況

※[平成26年版 火災・救急・救助統計]より抜粋

■ 出火原因別火災状況

種別	出火原因	件数	損害額(千円)
建物火災	タバコ	2	4,843
	飛び火	2	4,210
	不明	2	2,821
	短絡	1	126
	野焼き	1	185

種別	出火原因	件数	損害額(千円)
車両火災	排気管	2	99
	火花	1	16
その他火災	ろうそく	1	0
	裸火	1	84

■ 四季別火災状況

四季	春 (3月~5月)	夏 (6月~8月)	秋 (9月~11月)	冬 (12月~2月)	合計
件数	4	1	6	2	13

■ 初期消火実施状況

器具名	件数	備考
消火器	4	
その他	2	水道ホース、バケツリレー
合計	6	

コラム -Column-

119番通報の仕方

災害の有無に関係なく、火災に見舞われたり、救急要請が必要になることがあるかもしれません。いざという時に正確な119番通報ができるよう日頃から手順などを確認しておきましょう。

火災の通報例

消防署 あなた 火事ですか、救急ですか
あなた 火事です
消防署 あなた 場所はどこですか
あなた 東温市〇〇 〇丁目〇番〇号です
消防署 あなた 何が燃えていますか
あなた 台所の鍋が燃えています
消防署 あなた あなたの名前と今かけている電話の番号を教えてください
あなた 私の名前は〇〇〇〇です。
消防署 あなた 電話番号は〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇です

救急の通報例

消防署 あなた 火事ですか、救急ですか
あなた 救急です
消防署 あなた 場所はどこですか
あなた 東温市〇〇 〇丁目〇番〇号です
消防署 あなた どうしましたか
あなた 母が腹痛を訴え、動けません
消防署 あなた あなたの名前と今かけている電話の番号を教えてください
あなた 私の名前は〇〇〇〇です。
消防署 あなた 電話番号は〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇です

第2章 「風水害 & 土砂災害」

～発生頻度は巨大地震以上～

1. 台風・集中豪雨の注意点

近年、日本では台風の大型化や集中豪雨が頻発し、各地で水害が報告されています。これまで被害を受けたことがない所でも、災害が発生する恐れがあることを念頭に置き、日頃から備えておきましょう。

異常気象情報をチェック!

正確な情報を入手する!

いつ来るか分からない地震と違い、天気予報からある程度予測できる台風や集中豪雨は、**普段から気象情報**を入手し、できるだけこまめに情報をチェックする。



避難準備も事前に!

⇒ 持ち出し品については28P・29P参照



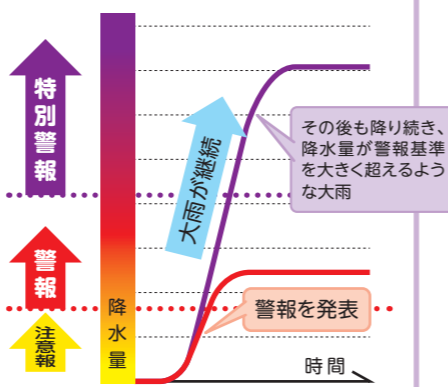
雨や風が強くなる前に対策を

- 窓や雨戸はしっかりと閉め、必要に応じて補強する
- 側溝や排水溝は掃除して水はけをよくしておく
- 風で飛ばされそうなものは飛ばないように固定したり、家の中に格納したりする

雨や風が強くなってからでは、外での作業は危険です。

特別警報のイメージ

大雨 数十年に一度の大雨となるおそれが大きいときに発表



雨の強さと降り方、災害発生の目安

気象庁ホームページでの発表(2000年8月作成、2002年1月一部改正)

1時間雨量(mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていても濡れる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声が良く聞き取れない		寝ている人の半数くらいが雨に気づく		
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを早くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険	
災害発生状況	この程度の雨でも、長く続くとときは注意が必要。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。 	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

※表にした雨量が同じであっても、降り始めからの総雨量の違いや、地形や地質などの違いによって、被害の様子は異なることがあります。

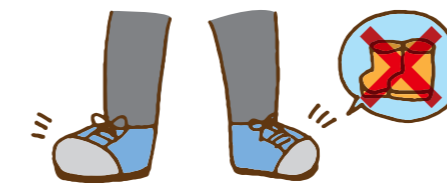
台風・集中豪雨のときの行動マニュアル

1. 避難情報が出た!

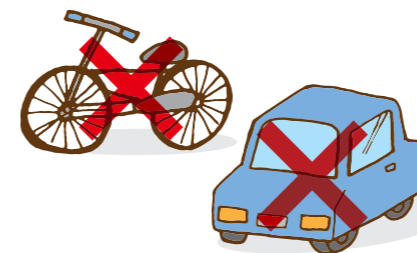
すぐに避難開始!

ハザードマップを参考に川や山の近くなら早めに別の安全な場所に避難する。ただし、時間に余裕がなく、避難が難しい場合は**建物の2階以上に一時避難**する。

避難のポイント 出発前



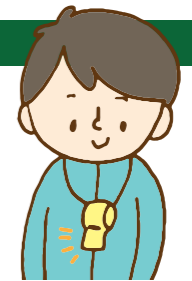
運動靴を履く。長靴は水が入ってきて歩きにくい。裸足も厳禁。



自動車や自転車は使わない。



できるだけ**2人以上**で避難する。はぐれないようお互いの身体をロープでつなぐ。



いざというときのために、**ホイッスル**を首から下げておく。



道路に水が溜まっている時に**歩ける水深は膝ぐら**いまで、男性70cm、女性50cmが目安。それ以上なら無理をしないで高いところで救助を待つ。

※5Pの **ガスと電気の供給を絶つ!** **最小限の荷物で歩いて移動する!** も行う。

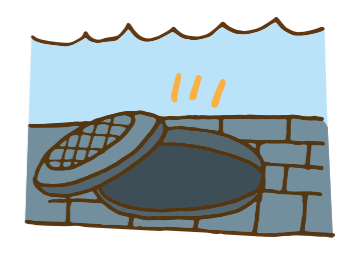
避難のポイント 出発後 [道路冠水時]



歩き慣れた道でも**道路の真ん中**を歩く。



先頭の人**は長い棒を杖にし、くぼみや溝を確かめながら**歩く。



側溝、水路、マンホールに注意する。特にマンホールはフタがとれている可能性があり危険。



垂れ下がった電線には近寄らない。



隣近所に声をかけて**助け合いながら移動**する。歩行困難な人は背負う。

2.こんなところで水が来た!

地震同様、場所によって行動の仕方が違うため、正しい対処ができるよう、基本的な行動を身に付けることが必要。また大雨が予想されるときは、できるだけ無理な外出を控えることも重要。

地下室

地上の様子が分からないため、逃げ遅れる可能性がある。地上が冠水すると**一気に水が流れ込み、大変危険**なため早めに避難すること。水が20cm溜まるとドアは開かなくなる。



アンダーパス(地下道)

鉄道や道路の下をくぐるアンダーパスは、**路面が低く水がたまりやすい**ので、大雨の際はできるだけ通行を控える。普段から「アンダーパスを回避する通勤・通学路」を決めておくのがベター。



川(キャンプ場など)

周りが急に暗くなったり、雷が聞こえたら、**急激に増水する恐れ**があるので川から離れる。川遊びに出かける際は、上流地域の天気予報もチェック。



運転中



①水深30cmでほとんどの車のエンジンは停止する。浸水や冠水などの危険を感じたら車を**高台などに移動**させる。



②水に浸かった車は道路の水が引いたからといって、**むやみにエンジンをかけては危険**。エンジンの吸気系に水が入っていると、エンジン自体が壊れることも。



③やむを得ず車を移動させるときは、シフトレバーをニュートラルにし、**手で押して移動**させる。

車に閉じ込められたら



①シートベルトをはずし、**窓を開けて脱出**する。仰向けになり、背中側から外に出るようにすると脱出しやすい。



②浸水が進み、窓からの脱出が困難なときは、**胸から首のあたりまで浸水するのを待つ**。そのあたりまで浸水するとドアが開きやすくなるので、ドアロックを解除し、**足でドアを蹴り開けて脱出**する。



③どうしても窓が開かない場合は、「**ガラス破碎ハンマー**」などで窓を破り、脱出する。シートベルトを切断するためのカッターが付いたハンマーも市販されている。

3.水害を最小限に抑える!

土のうの作り方

水害時の初期対策に欠かせない土のう。最近では土を詰める必要がない給水式のものもある。災害時の基礎知識として一般的な土のうの作り方をご紹介します。

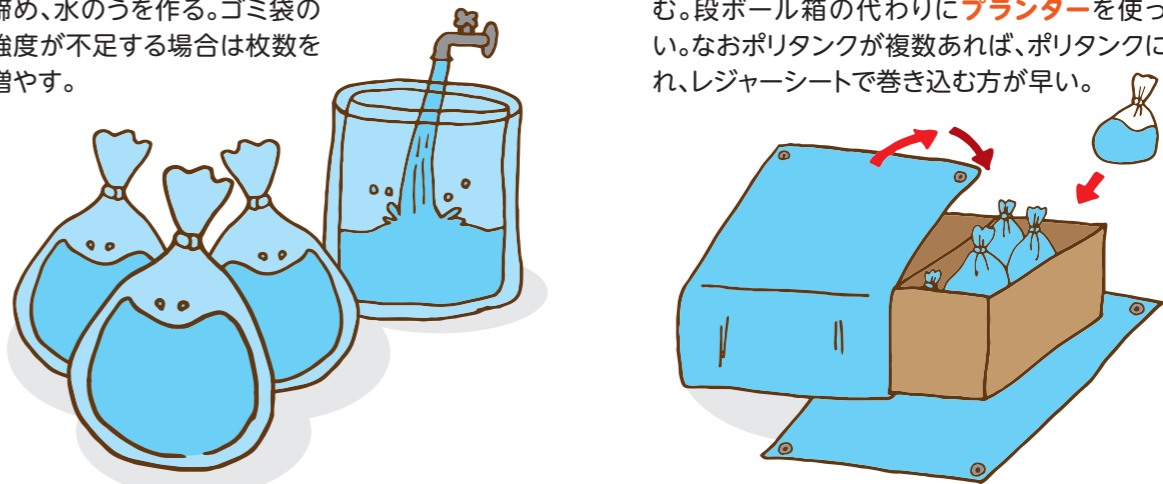
- ①土のう用の袋の口を斜めにして土を入れる。
- ②2本のひもを引いて袋の口を強く絞り、その下部をひもで2~3回廻す。
- ③ひもの端を上から下へ通し、引いて締める。



簡易水防の仕方

土のうや土がないときは、水を使う簡易水防が有効。ゴミ袋とダンボール、水があれば簡単に作ることができる。

- ①45L程度の**ゴミ袋を二重**にし、半分程度の水を入れて締め、水のうを作る。ゴミ袋の強度が不足する場合は枚数を増やす。
- ②水のうを段ボール箱に入れ、**レジャーシート**で巻き込む。段ボール箱の代わりに**プランター**を使ってもよい。なおポリタンクが複数あれば、ポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込む方が早い。

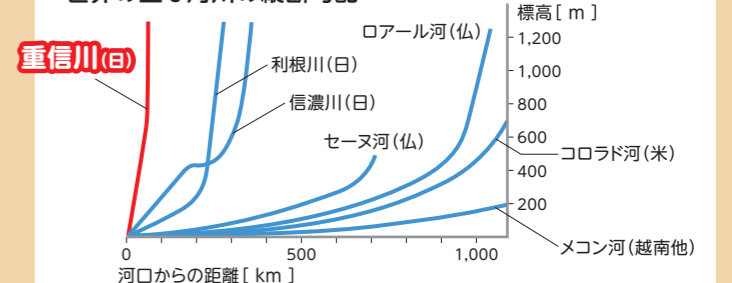


コラム Column

重信川は日本の河川の中でも急勾配!

日本の河川は距離が短く、勾配が急なため、水が一気に海へ流れる特徴があり、中でも**重信川は特に急勾配**で、延長36kmの間に約1,200mの高低差を下ります。その上**ダムがないため雨が降ると急激に増水**し、短時間のうちに洪水のピークを迎えます。また松山平野は重信川流域の土砂による沖積平野であり、ボーリング調査では数千年に1回程度の割合で平野を埋め尽くすほどの大規模な土石流が発生しており、今後もその可能性は否定できません。

世界の主な河川の縦断勾配



2. 土砂災害の注意点

台風や集中豪雨、長雨などで地盤がゆるんだときや、地震によって発生する土砂災害。一瞬で甚大な被害をもたらしますが、前兆を知り、それに気付けば、早めに避難できます。

市内には747の危険箇所がある!

山間部や河川流域が多く存在する東温市には、「土砂災害発生危険箇所」が747箇所あります。

⇒ ハザードマップで行動範囲の確認を! 38P以降参照

危険箇所の看板表示



急傾斜地崩壊危険区域 砂防指定地 土砂災害避難マップ

市内の土砂災害危険箇所の数

土石流危険渓流	急傾斜地崩壊危険箇所	地すべり危険箇所	合計
130	596	21	747

[詳しくは東温市ホームページへ] ※愛媛県内市町別土砂災害危険箇所数より作成
http://www.city.toon.ehime.jp/bousai/emergency/dosha.html

前兆に注意し、発生する前に避難!

土石流の速度は時速20~40kmにも及び、発生してから避難するのは困難です。前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大切です。

土砂災害の種類と前兆

土石流(土石流危険渓流)

特徴: 谷や斜面にたまった土や石、砂などが大雨による水と一緒に一気に流れだす現象。破壊力が大きく、流れる速度も速いため大きな被害をもたらす。

前兆1
山鳴りがする。

前兆2
急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。

前兆3
雨が降り続けているのに川の水位が下がる。腐った土の匂いがする。立木がさける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

がけ崩れ(急傾斜地崩壊危険箇所)

特徴: 地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちる現象。突発的に起こり、瞬時にして崩れ落ちるので逃げ遅れる人も多く、被害が大きくなる。

前兆1
がけから小石がパラパラ落ちてくる。

前兆2
がけに亀裂が入る。

前兆3
がけから水がわき出る。地下水や湧水が止まる。がけから木の根が切れるなどの音がする。

地すべり(地すべり危険箇所)

特徴: 比較的緩やかな斜面において、地中の粘土層などの滑りやすい面が地下水などの影響でゆっくと動き出す現象。一度に広範囲で発生するため、住宅や道路などに大きな被害を及ぼす。

前兆1
がけや斜面から水が噴き出す。

前兆2
地面がひび割れたり陥没する。

前兆3
井戸や沢の水が濁る。家や擁壁に亀裂が入る。樹木や電柱が傾く。

土砂災害のときの行動マニュアル

前兆を見つけたら
市役所や消防などに連絡し、速やかに避難!

前兆がなくても
降雨に不安を感じるときは、自主避難!

1.1時間に20ミリ、降り始めから100ミリがキーワード!

土砂災害の前兆を見つけるために、がけや川などに近づき過ぎるのは返って危険。天気予報の降雨情報で「1時間に20ミリ」「降り始めから100ミリ」「土砂災害警戒情報」という言葉が出たら注意が必要。

2.土石流の進行方向に対し、直角に逃げる!

土石流のスピードは20~40km。後ろから襲って来る土石流に対し進行方向に逃げてもすぐに追いつかれるので、流れに対して直角に逃げる。がけのそばにいるときは、がけの高さの2倍の距離まで離れる。

3.避難準備情報が出たら、要配慮者はすぐに避難を!

市が発令する避難情報には「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」の3つがある。高齢者や体の不自由な方など、移動に時間のかかる方は「避難準備情報」が出たらすぐに避難を開始する。

⇒ 避難情報については26P参照



コラム -Column-

重信川砂防展示室

重信川砂防出張所(東温市横河原・水天宮東隣/TEL964-2126)の隣にある重信川

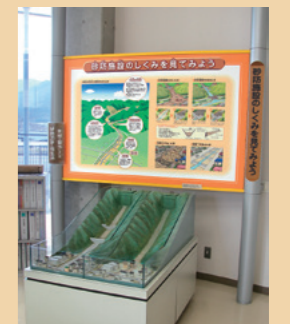
砂防展示室には、見て・さわって・楽しみながら砂防の大切さを実感できる土石流模型実験装置や、急傾斜地崩壊・地すべり・土石流などが実験できるミニ模型があり、砂防事業の大切さや土砂災害について学ぶことができます。



重信川砂防展示室



土砂災害を紹介するパネル



土石流模型実験装置

3. 孤立集落の注意点

土砂災害などにより交通手段が遮断されると、山間部では人の移動や物資の流通がとどこおり、集落全体が孤立します。公的な救助・救援が期待できない中、地域内での助け合いが重要になります。

1. 集落を孤立させる要因

道路自体の崩壊や道路への土砂堆積、トンネルの崩落、落橋などにより、集落に通じる道路が寸断されると孤立集落が発生します。特に**土砂災害危険箇所**は、その危険が極めて高いと言えます。



2. 孤立集落の問題点

道路が寸断されると、救助部隊の進入や救援物資の輸送がままならず、ライフラインの復旧にも支障をきたします。また固定電話の中継網の断線や携帯電話の基地局の破損などにより、**通信網まで遮断**されることも考えられます。



3. 孤立の可能性が高い集落は22箇所

土砂崩れなどの災害により、孤立する恐れのある集落が市内には22箇所あります。

山之内、佐川、滑川下、滑川中、滑川上、相之谷、問屋、狩場、日浦、音田(河之内)、徳吉、惣田谷下、惣田谷上、井内下、井内西、井内中、井内上、川筋、添谷、檜皮、音田(松瀬川)、三軒屋 ※出展:東温市地域防災計画資料編

外部からの支援がしばらく届かないことを想定し、家庭では**水・食料・生活必需品を1週間程度は備蓄**しておきましょう。

⇒ 備蓄品については28P・29P参照



コラム -Column-

東温市で発生した孤立集落

平成23年9月2日から3日にかけ、台風第12号の影響で東中予を中心に大雨に。東温市では滑川地区へ向かう唯一の道路である県道皿ヶ嶺公園滑川線が、土砂崩落などにより寸断。停電、電話回線の不通や断水などライフラインが途絶した状態で、51世帯86人が孤立。この状態は9日に一般車両が通行できるようになるまでの7日間続きました。



集落が孤立したときの行動マニュアル

1. 事前に集落で備蓄する!

孤立の可能性のある集落では、隣近所や自主防災組織で孤立集落への対応を話し合い、備蓄が必要な機材や物資、備蓄場所、管理方法などを検討しておく。



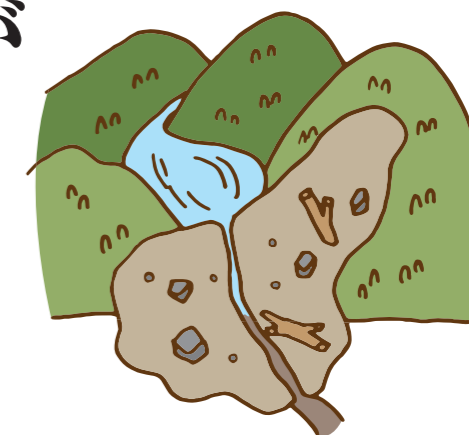
2. 電話が通じないときの連絡手段

固定電話や携帯電話が不通になっても、**防災行政無線**を通じて市役所などと連絡を取る(一部の屋外子局や消防団に配備している無線機を活用)。無線の設置場所は「地域ハザードマップ」に掲載。また**地面に文字**を書いたり、**アマチュア無線**で救助を要請する方法もある。



3. 河道閉塞(天然ダム)ができれば要注意!

河道閉塞(天然ダム)とは、土石流や崖崩れにより大量の土砂が川の流れをせき止めてしまうこと。せき止められた部分の上流部では**水が溜まって池のようになり、浸水被害**が出る。またせき止めている土砂が一気に崩壊すると**大きな土石流が発生**し、下流部に大きな被害をもたらす。河道閉塞(天然ダム)が確認されたら、集落全体で避難が必要な場合がある。孤立集落で自力での避難が難しい場合は、防災行政無線などで避難要請をする。



第3章 「備え」

～早めの行動が被害を減らす～

1. 避難情報と避難場所

台風や集中豪雨などの被害をできるだけ最小限に抑えるために、人的被害が発生する可能性が高まったときには、避難勧告などの避難情報を発令しています。

避難情報の種類と行動

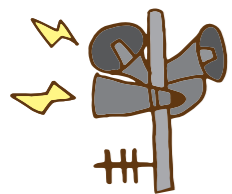
災害状況に応じて3種類の避難情報を発令しており、それぞれ求められる行動が違います。

避難情報	災害状況	求められる行動
避難準備情報	人的被害が発生する可能性が高まっており、避難するのに時間のかかる人は避難を始めなければならない状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者、病人、障がい者など避難に時間が必要な人は避難を開始 ● 非常用持出袋を用意するなど、いつでも避難できるよう準備
避難勧告	人的被害が発生する可能性がさらに高まっており、避難を始めなければならない状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 避難所などへ速やかに避難を開始
避難指示	災害の前兆現象が発生 するなど人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況、または実際に 人的被害が発生 している状況	<ul style="list-style-type: none"> ● ただちに避難所への避難を開始 ● 避難中の人は確実に避難を完了する ● 避難する時間がないときは、生命を守る最低限の行動をとる

避難情報の入手方法

防災情報は防災行政無線や緊急速報メールなど、さまざまな手段で入手できます。

防災行政無線



災害時に**屋外のスピーカー**や**戸別受信機**から、避難情報などをお知らせします。

緊急速報メール(エアメール)



気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、市が配信する災害・避難情報を被災の恐れがあるエリアの**携帯電話に一斉配信**します。

どうおんメール



配信登録者に対し災害時は**防災情報や避難情報**などを、平時は行政情報などを配信します。

Lアラート(災害情報共有システム)



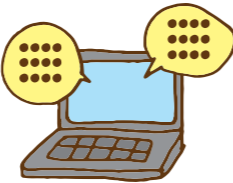
放送事業者を通じ、市からの避難情報などを**テレビ**などのさまざまなメディアで配信します。

ラジオ



持ち運びができ、放送設備の復旧が早いので**災害時の情報収集に活躍**します。手回し充電できるラジオは電池が不要。

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)



東日本大震災ではパソコンや携帯電話を利用した**Twitter(ツイッター)**のつぶやきが情報の発信・伝達手段として利用されました。

避難場所リスト

指定緊急避難場所

災害が発生または発生のおそれがある場合に、**一時的に避難するための場所**(公園・グラウンドなど)

番号	場所	住所
1	いわがらこども館広場	横河原1368-1
2	北吉井小学校グラウンド	志津川131
3	旧重信町庁舎跡	志津川972
4	重信中学校グラウンド	志津川991
5	八反地ふれあい広場	志津川甲1327-1
6	踊田公園	志津川区画整理地区
7	総合公園	西岡甲1284-1
8	農林業者トレーニングセンター広場	田窪235
9	農村環境改善センター広場	田窪300-2
10	南吉井小学校グラウンド	田窪1100
11	中央公民館広場	田窪2370
12	田窪水木公園	田窪3007-1
13	牛淵横畑公園	牛淵1093
14	牛淵上野農村公園	牛淵1625
15	ゆるぎ公園	野田1-19
16	てんじん公園	野田3-3
17	下林八幡農村公園	下林甲297-1
18	下林集会所	下林甲1571
19	拝志小学校グラウンド	下林甲1585
20	上林小学校グラウンド	上林甲2565
21	川内健康センター広場	南方262
22	川内公民館広場	南方264
23	川内支所広場	南方286
24	川内中学校グラウンド	南方467-1
25	南方東公園	南方504-8
26	くぼの泉公園	南方1166-1
27	ふるさと交流館さくらの湯	北方甲2081-1
28	川内体育センター広場	北方甲2314-2
29	川上小学校グラウンド	北方甲2655
30	北方西公園	北方甲3164-1
31	東谷小学校グラウンド	則之内甲334
32	西谷小学校グラウンド	則之内乙835
33	奥松瀬川公民館広場	松瀬川乙80-1
34	土谷公民館広場	河之内甲1211-1
35	滑川生活改善センター広場	滑川甲1422

※ 対応する災害種別は38～67Pの地図注釈を確認してください。

指定避難所

自宅が被災したり、帰宅できない場合に、**一定期間滞在するための施設**(学校・公民館など)

番号	場所	電話番号	住所
1	山之内集会所		山之内1640
2	いわがらこども館	960-5003	横河原1368-1
3	北吉井小学校	964-2119	志津川131
4	重信中学校	964-2007	志津川991
5	ツインドーム重信	955-5123	西岡甲1367-1
6	農村環境改善センター	964-9400	田窪300-2
7	よしいのこども館	955-2026	田窪1071-10
8	南吉井小学校	964-3504	田窪1100
9	田窪団地集会所		田窪1976-70
10	中央公民館	964-1500	田窪2370
11	下林集会所		下林甲1571
12	拝志小学校	964-2015	下林甲1585
13	上林小学校	964-3574	上林甲2565
14	川内健康センター	966-2191	南方262
15	川内公民館	966-4721	南方264
16	さくらこども館	966-6169	南方285-1
17	川内中学校	966-2031	南方467-1
18	ふるさと交流館さくらの湯	960-6511	北方甲2081-1
19	川内体育センター	966-4882	北方甲2314-2
20	川上小学校	966-2021	北方甲2655
21	東谷小学校	960-6711	則之内甲334
22	西谷小学校	960-6411	則之内乙835
23	奥松瀬川公民館		松瀬川乙80-1
24	土谷公民館		河之内甲1211-1
25	なめがわ清流の森		滑川甲1422
26	滑川生活改善センター		滑川甲1422

福祉避難所

高齢者・障がい者・妊産婦・乳幼児・病弱者など、指定避難所の中での生活に配慮が必要な方が滞在するための施設

施設名	電話番号	住所
特別養護老人ホーム重信(ウエルケア)	955-0310	北野田533-1
特別養護老人ホームガリラヤ荘	966-2293	南方1766-1

※ 災害時必要に応じて開設し、必要性の高い方から優先的に移っていただきます。

2. わが家の防災セット

災害に備え各家庭で揃えておくべき「防災セット」は、避難時にすぐに持ち出すべき「1次持ち出し品」と、救援物資が届くまで自足するための「2次持ち出し品」の2段階に分けて準備する必要があります。

避難所に行くときに持ち出す |

1次 持ち出し品リスト

- 避難所での生活(1日程度)に最低限必要なもの
- リュックに入れて準備
- 運べる目安は男性15kg以下、女性10kg以下
- 玄関口・勝手口に用意



カテゴリ	チェック欄	品名
貴重品		現金 ※公衆電話用に10円・100円硬貨
		車や家の予備鍵
		銀行の口座番号 生命保険契約番号など
		健康保険証 運転免許証 ※コピーや番号の控え
		印鑑
情報収集用品		携帯電話 ※充電器
		携帯ラジオ ※予備電池
		家族・親戚の連絡先
		筆記用具
食料など		非常食 ※持ち運びしやすく高カロリーのもの
		飲料水 ※1.5ℓ程度
救急・衛生品		救急セット(包帯・絆創膏・傷薬など)
		タオル
		トイレトーパー ウェットティッシュ
便利品など		下着類
		懐中電灯 ※1人1個・予備電池 笛・ブザー ※居場所を知らせるもの

カテゴリ	チェック欄	品名
便利品など		マスク ※風邪・ホコリを避ける
		軍手・革手袋
		雨具 ※レインコートは防寒用にも
		防災ずきん・ヘルメット ※避難時に
		スリッパ
		レジャーシート・毛布 ※寝袋も便利
		万能ナイフ
		マッチ・ライター
		ビニール袋・新聞紙
		簡易トイレ
		予備のメガネ コンタクトレンズなど
		鏡・ブラシ 抗菌スプレー



持ち出し品を入れるバッグは、リュックなど**必ず両手が使えるもの**にし、いざという時重すぎて歩けないことがないように、一度持って歩いてみましょう。

POINT!

「食料品の買い置き習慣を」

食料品の備蓄は、普段使っている食品の「買い置き」から始めましょう。「**保存性が高い・自分の好きなもの・美味しいもの**」を選び、賞味期限が近いものから計画的に使い、消費した分は新たに購入するようにしましょう。

POINT!

「非常時専用は避ける」

3年、5年など**長期保存が効く非常時専用**の保存食は、気が付いたら消費期限が過ぎてていることがあります。また“味気ない”“すぐ飽きる”などの弊害もあるので注意しましょう。

家族構成などに応じて必要になるもの

カテゴリ	チェック欄	品名
女性用品		生理用品
		基礎化粧品
		髪留め・ヘアゴム
赤ちゃん用品		粉ミルク・ほ乳びん
		離乳食
		紙おむつ

カテゴリ	チェック欄	品名
高齢者		予備メガネ
		持病薬
		携帯用杖
		介護用品
		食べやすい非常食
ペット		キャリーバッグ
		ペットフード、飲料水
		リード ※首輪に連絡先を書いておくとう便利

避難生活(約1週間)で使用する |

2次 持ち出し品リスト

- 目安は1週間分
- 物置や軒下、ベランダなどに配置
- 衣装ケースなどに入れて保管
- 飲料水とトイレの確保を



カテゴリ	チェック欄	品名
水		飲料水など(1人1日3ℓ)
		非常用給水袋
備蓄食料		アルファ化米・無洗米 切り餅
		スパゲティ・そうめん
		インスタントラーメン
		缶詰類(肉・魚・大豆) レトルト食品(おかゆ・カレー)
		即席スープ・みそ汁
		ビスケット・キャンディ・チョコレート
		塩など調味料
衣類		梅干し・マルチビタミン剤
		上着
		下着 ※速乾性の高機能繊維が最適
	靴下	

カテゴリ	チェック欄	品名
生活用品		ランタン
		タオル・バスタオル
		毛布
		雨具
		電池
		カセットコンロ・ガスボンベ
		固形燃料
		鍋・やかん
		ラップ
		皿・コップ(紙・ステンレス)
		わりばし・スプーン
		歯ブラシ・石けん
		携帯電話の充電器 ※電池式・手回し式など
		新聞紙
		使い捨てカイロ
	災害用トイレ ※1人1日5～8回分	

POINT!

「くみ置きした水の保存期限は概ね3日間」

くみ置きした水道水は**直射日光を避けたら3日程度**は飲料水として使えます。保存には消毒のために入っている塩素が必要なので、**浄水器は通さず**にくみ置きしましょう。

POINT!

「トイレの確保が重要」

水洗トイレが使えない状況を想定し、**災害用トイレ(携帯トイレ・簡易トイレ)**などを準備しておきましょう。自宅のトイレならポリ袋と新聞紙で簡易トイレも作れます。

3. 災害時の連絡方法

災害発生後、一番気になるのは家族の安否です。会社や学校、外出先などで被災した場合、家族の状況を把握し、自分の状況を知らせるために、複数の連絡方法を知っておきましょう。

連絡方法1 (固定電話)

災害用伝言ダイヤル171

被災地域の市外局番から始まる自宅の電話番号宛に、**安否情報を音声で録音(30秒)**すると、全国からその音声を再生できます。

連絡方法2 (携帯電話・PHS)

災害用伝言板サービス

携帯電話から**安否の伝言を文字で登録**すると、全国から伝言が確認できます。2012年から音声によりサービスも開始。

連絡方法3 (パソコンなど)

災害用伝言板web171

家族・親戚らとあらかじめ決めている登録用の電話番号に音声・文字を入れると、**メールや電話で伝言が届きます。**

POINT!

「大切な連絡先は紙に書く」

携帯電話の電池が切れると電話番号が分からず、公衆電話があっても連絡できなくなります。**大切な連絡先は紙に書いて**普段から持ち歩きましょう。



※災害時以外にも、毎月1日、15日や防災週間(8/30~9/5)などに「災害用伝言ダイヤル」が体験できるので、家族で練習しておきましょう。

災害時の通信環境



公衆電話

通常の電話よりつながりやすく、**災害時には無料**で使用可能。
※公衆電話の機種によっては通話時に10円・100円硬貨またはテレホンカードが必要で、通話後に返却されます。



携帯電話

回線のバンクや通話規制などでつながりにくくなります。**通話よりメールの方が有効。**



パソコン

ネット環境と電源があれば利用可能。ツイッターやフェイスブック、ラインなどの**ソーシャルメディア(SNS)**に自分の状況を投稿すれば、つながりのある知人や友人に安否が伝わる場合があります。

4. 避難行動要支援者への対応

高齢者や障がいのある方は、自分ひとりで避難することが難しく、移動にも時間がかかります。地域住民が協力し、助け合うためには普段からのコミュニケーションが重要になります。

こんな人たちがあなたの助けを待っています。

■ 高齢者

- まず声をかけ、困っていることを聞き出し、サポートしましょう。
- 移動の際は**手をつなぐ、背負う、担架を使う**など、本人が安心する方法を選びます。
- やさしい言葉と落ち着いた態度で状況を説明し、避難を促しましょう。

■ 耳の不自由な方

- まず見える位置に立って、サポートに来たことを伝えましょう。
- 手話や筆談のほか、**身振りや空書**(空中に書く)、**手のひらに書く、口話**(少しゆっくりはっきり口を開けて話す)、**図、絵**などを総合的に使いましょう。

■ 言語障がいのある方

- 単語一つひとつを聞き取り、メモを取り最後に確認しましょう。
- 聞き取れない場合は**何度も聞き返し、意思疎通**を図りましょう。

■ 精神障がいのある方

- ゆっくりと声をかけ、状況を伝えましょう。
- 本人の様子を見ながら**落ち着かせることが大切**です。

■ 目の不自由な方

- まず声をかけ、目の不自由な方の手は取らず、あなたのひじや肩などに**触れてもらい、半歩前あたりを歩いて誘導**しましょう。
- 「段差を上がります・降ります」など、次の動作に入る前に必ず言葉で伝えましょう。

■ 車いす利用者

- 階段や坂を**上るときは前向きで、降りるときは後ろ向き**にして移動します。
- 人数に余裕があれば車いす利用者1人に対し、3~4人で対応してください。

■ 知的障がいのある方

- 落ち着いてもらうために声をかけましょう。
- 状況の理解が難しい場合は、**手を引くなどして誘導**しましょう。

■ 難病患者

- 外見からは抱えている症状が分からないため、どのようなサポートが必要なのか**本人に確認**しましょう。

災害時に知っておくと便利な手話

「なに？」
「どうしましたか？」

「お手伝い
しましょうか？」



人差し指を左右に振る。



親指を立てて握った手に、もう片方の手の平を相手に向けて、数回前後に動かす。

避難行動要支援者の支援について

あらかじめ避難行動要支援者として市に登録しておくことで、災害時には、市・消防署・民生児童委員・自主防災組織および自治会・警察署が情報を共有し、安否確認や避難誘導の支援を行います。

【東温市の登録対象者】

- ① 高齢者(65歳以上):独居高齢者、ねたきり高齢者、高齢者のみの世帯の方
- ② 身体障がい者(手帳1~3級)
- ③ 知的障がい者(療育手帳所持者)
- ④ 精神障がい者(手帳1~3級)
- ⑤ その他、災害時において支援を必要とする者

※対象者のうち、施設に入所している方については、当該施設内での共助によって安全確保等の対応が可能であると考えられるため、対象者から除外します。

5. オリジナル防災マップを作ろう

自分のまちで想定されている災害を事前に把握し、対策を講じることが、災害から身を守る一番の近道となります。地域や家族で「防災マップ」を作り、情報を共有しましょう。

進め方 1

まち歩き(調査)用の道具を揃える

- まち歩き(調査)用地図…住宅地図、都市計画図など
- カメラ、筆記用具、付箋
- チェックシート…安全な場所=公園・広場など、危険な場所=狭い道・水路などを書き込む
- 丸型ラベルシール…防災上役に立つもの(消火栓など)を色分けし、項目ごとに地図上に貼る
- 地図用の台紙

進め方 4

防災マップにまとめる

- 1 防災マップ用の大きめの地図を用意する
- 2 撮影した写真を地図上に貼る(地図の余白などを使う)
- 3 安全な場所、災害時に役立つもの、危険な場所などをカラーペンで記入する。気付いたことがあれば付箋に記入して貼る。
- 4 地域のリーダーや災害に役立つ知識の持ち主の存在を書き込む。
(例:町内会長・青年団員・消防団員・防災士・医師・看護師・アマチュア無線家・大工など)

進め方 2

グループを作り、役割分担をする

地域で「防災マップ」を作る場合は、1グループ6~10人程度の班を作り、1時間程度で歩くことのできる調査範囲と役割分担を決めます。

- グループ長…グループを統括する
- 記録係…発見した内容を地図やチェックシートに書き込む
- 撮影係…発見したものを撮影する(撮影場所を地図に書き込む)
- 測定係…メジャーで道幅などを測る(数値を地図に書き込む)
- 車両誘導係…事故にあわないように安全管理をする

進め方 5

勉強会を開催する

作成した防災マップを基に地域で防災の勉強会を開催しましょう。行政担当者や防災の専門家などにも声をかけ、参加を促してください。



POINT!

「地域防災力の向上で災害に強いまちに」

「防災マップ」作りは、作ることが目的ではありません。地域の方が主体となって防災を考え、問題点を洗い出し、対策を講じることで、住民同士のコミュニケーションが図れ、絆が生まれます。災害時に大切な「助け合いの心」が育まれることで、地域防災力が向上します。

進め方 3

まち歩き(調査)をする

【チェックポイント】

- 地域の避難場所は? (例:ツインドーム重信)
- 危険な場所は? (例:ため池)
- 行き止まりの道は?
- 高齢者の一人暮らしや高齢者だけの家は?
- 災害に役立つ知識の持ち主(消防団員・防災士など)は?
- 災害に役立つ施設は? (例:コンビニ)

6. 災害時に役立つ応急手当

大きな災害時はすぐに救急車が来られなかったり、病院に行けないケースもあります。正しい応急手当の方法を知っておけば、ケガや病気の悪化を防ぐことができます。

傷・出血



清潔なガーゼや布で出血部分を覆うようにして、しばらく**圧迫**する

※感染防止のため、じかに血液に触れないようビニール袋やビニール手袋を使用



傷口(出血部)を**心臓より高い位置**に保つ

やけど



できるだけ早く水道水などの**清潔な水で冷やす**

※水道が使えない場合は水で濡らした清潔な布をあて、頻りに変える。



服を着ているときは**服の上から冷やす**。すぐに服を脱がせないように注意する



十分に冷やした後、細菌感染を防ぐため**消毒ガーゼ**をあてる

骨折



全身および骨折部を**安静**にする。出血していれば止血を優先する



骨折部位を雑誌や木の枝、ダンボール、新聞などを添木にして固定する



腕を骨折したときは、**三角巾**などを利用する



変形した部分は無理に元に戻さない

寝かせ方



原則として**水平に寝かせる**が、本人の楽な姿勢がベスト



顔面が**紅潮**しているときは、頭を高くする



顔面が**蒼白**のときは、頭を低くする



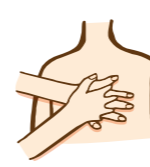
意識が無い場合、嘔吐物などによる**窒息**を防ぐために横向きに寝かせる

倒れている人を発見したら



- 「大丈夫ですか」と声をかけ、肩を軽くたたき、**意識の有無**を確認。反応がなかったり鈍い場合は、協力者を求め、**119番通報とAEDの手配**を依頼
- 傷病者の呼吸の有無を判断するため、胸部と腹部の動きを観察する

呼吸をしていなかったら(胸骨圧迫&人工呼吸)



① 傷病者の胸の真ん中(胸骨の下半分)に、片方の手のひら基部を置き、その上にもう一方の手を重ねる



② 両肘を伸ばし、垂直に体重をかけて胸骨を少なくとも5cm(成人)押し下げる



③ 手を胸骨から離さず、速やかに力をゆるめる。毎分100回程度のテンポで、続けて30回圧迫する



④ 人工呼吸を2回行う。ためらわれた場合は胸骨圧迫を継続する

AEDの使い方

AED(自動体外式除細動器)は、突然の心室細動により心臓が血液を送り出せない時に、**できるだけ早く心臓に電気ショックを与え、心臓のリズムを正常に戻す**ための医療機器です。**音声メッセージで手順を指示してくれます**ので、一般の方でも操作することができます。

- ① 電源を入れる
- ② 音声メッセージに従って、電極パッドを胸に貼る
- ③ 「電気ショックが必要です」「離れてください」の指示が出たら周囲を確認し、ボタンを押す
- ④ 電気ショック後、ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開する
- ⑤ 救急隊が到着するまで、AEDの電極パッドはそのままにし、電源も入れたまましておく

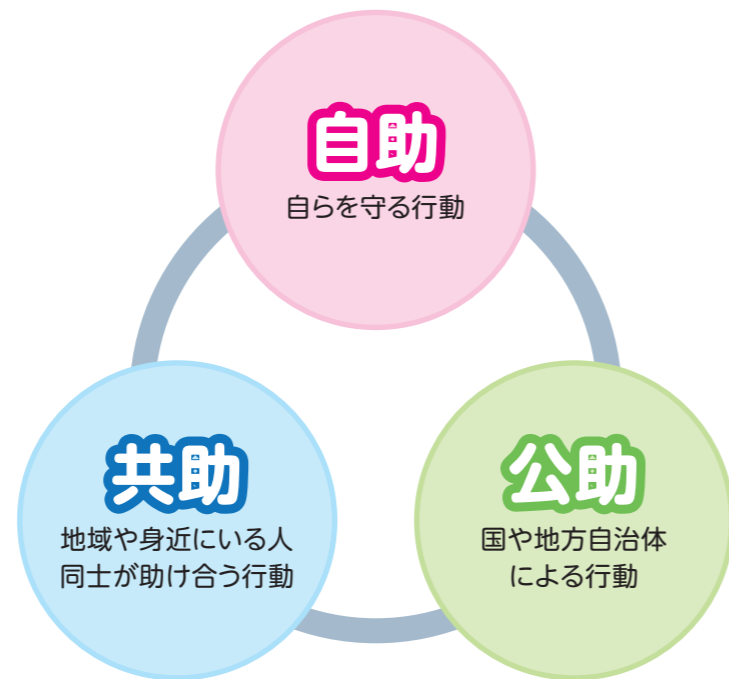


7. 自主防災組織・消防団

大規模災害では、公的機関の救護・救援はすぐに来られない可能性が高く、住民同士の助け合いが必要です。地域の防災訓練などに参加して、避難場所や自分の役割を確認しておきましょう。

自分たちの命は自分たちで守る

阪神・淡路大震災では多くの家が倒壊しましたが、助かった人の8割は**自力または地域の人たちに救助**されています。防災対策は「自助」「共助」「公助」に分けられますが、自分の身は自分で守り(自助)、自分たちのまちは自分たちで守る(共助)ことを理解し、市や防災関係機関(公助)と連携して行動しましょう。



「自主防災組織」の活動に参加する

「自主防災組織」とは、**地域の方が自主的に連帯**して防災活動を行う任意団体です。東温市には現在34自治区全てに自主防災組織があります。平常時から所属する自主防災組織の地域防災訓練などの活動に、積極的に参加しましょう。

自主防災組織の活動

平常時

- 防災知識の普及・啓発
- 家庭の安全確認
- 防災訓練の実施
- 防災環境の確認
- 防災資機材の整備・点検

災害時

- 初期消火
- 救出・救助
- 情報の収集・伝達
- 避難誘導
- 避難所の管理・運営

「消防団」と連携する

「消防団」は、**消防組織法に基づいて設置**されている消防機関で、地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守っています。市内には6分団、約600人の消防団員がおり、火災や大規模災害発生時には自宅や職場から現場へ駆けつけ、地域での経験を生かした消火活動・救助活動を行います。

コラム -Column-

「防災士」とは

「防災士」とは、災害に対する正しい知識と技能を身に付けた人材を育成するために制度化された資格。日頃から防災・減災に関する知識と技能を習得し、スキルアップに

努めているほか、地域や職場の防災力を高めるために啓発活動を行っています。災害発生時には所属する地域や団体、公的機関と協働して、被災現場で実際に役に立つ活動を行うことが期待されています。現在、東温市には約100名の防災士がいます。

東温市 | 総合防災訓練レポート

平成27年11月14日(土)、**消防前会場**(重信川河川敷ほか)と**川上会場**(川上小学校体育館)の2ヶ所で、31機関・約500人が参加した東温市総合防災訓練が実施されました。ここでは消防前会場の訓練の様子をご紹介します。

土砂災害対応訓練

土砂に埋もれた家屋から傷病者を救出し、救護所に搬送しました。



高層建物火災対応訓練

倒壊の恐れがある高層建物に取り残された人を救出し、1階部分から発生した火災を消火しました。



交通事故対応訓練

高速道路で発生した交通事故の傷病者を救出し、トリアージ(治療の優先順位の決定)を行った後、医療機関へ搬送しました。



ライフライン復旧訓練

寸断された水道および電気の応急復旧を行いました。



応急手当・搬送訓練

身近にある道具を使って傷病者を搬送する方法や、三角巾の使い方の指導を受けました。



防災グッズ展示

備蓄食料や防災資機材、生活一般品など、さまざまな防災グッズが展示されました。



地域の防災リーダーにお聞きしました!

東温市消防団団長 **森 光夫**さん(上林地区)



市内には6分団、約600人の消防団員がおり、有事の際には消火活動や人命救助に当たります。平時は緊急車両やポンプ、消火栓など防災資機材の点検を定期的に行っているほか、部会ごとに必要な訓練をしています。当市では普段は台風などの風水害、地震では火災や家屋の倒壊などが懸念されていますが、火災報知器の設置や転倒防止器具などの取り付けにより被害を抑えられるので、各地の自主防と協力し啓発活動に努めています。また団員には普段から「消防団員であること」を周りの人に伝えるよう指導しています。地域や職場に安心感を与えると同時に、自覚が芽生え、防災に対する知識が自然に身に付くことが期待できます。

東温市防災士会会長 **岡村 和典**さん(横河原地区)



現在、東温市には約100名の防災士がいますが、多くは消防団や市役所、自主防災組織の関係者で、地域的に偏りが見られます。市内に34ある自主防に最低でも3人ずつ防災士がいれば、有事の際に機動的な活動ができると思います。平時には各自自主防の防災訓練に参加していますが、地域の人が集まり一緒に行動することで「絆」が生まれます。例えば隣の家の人がどの部屋で寝ているのかを知っていれば、救出活動がスムーズに行えるなど、「絆」を育むことが防災・減災につながります。また一般の方でも訓練すれば心肺蘇生など応急手当ができるようになります。いざというときに慌てないためにも、繰り返し防災訓練に参加していただきたいと思っています。

8. 防災マップ作成のためのワークショップ開催

「東温市防災マップ」を地域環境にマッチしたものにするために、市では各地域の防災リーダーなどを招き「東温市防災マップ作成のためのワークショップ」を開催しました。愛媛大学防災情報研究センターの矢田部龍一センター長による講演の後、「災害発生時の身近な危険」をテーマにグループ討議を実施。各地域で想定される災害の種類や対処法などを話し合いました。ここで出された意見の一部は、今回の「東温市防災マップ」に反映させています。

開催概要

- 日時：平成27年12月2日(水) 18時30分~20時30分
- 場所：東温市役所 4階大会議室
- 参加者：45人
(自主防災組織リーダー、防災士、消防団員、学校・PTA関係者、社会福祉団体関係者など)

講演

- 演題：東温市の自然災害と防災まちづくり
- 講師：愛媛大学防災情報研究センター センター長 矢田部 龍一氏



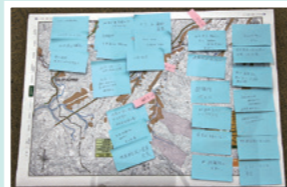
松山平野は東温市周辺の山々からの膨大な土砂でできており、東温市の北側は地質的に「和泉層群」という壊れやすい岩石の層になっている。南側には中央構造線を挟み「久万層群」があるが、これは地滑りの本場で、年間1,200ミリ~1,400ミリ、日雨量で300~400ミリの雨が降ったら大災害になる。

たまたま何百年という期間、土砂災害を引き起こすほどの雨が降っていないだけで、数千年単位で見れば大量の土石流が溜まっている。もし東温市の上に積乱雲が居座り雨を降らせれば、ありとあらゆる沢から土石流が出て大洪水になる。1,000年に1回、2,000年に1回はあると考えると、そういうシナリオになる可能性はゼロ

ではない。重信川の本川はダムがないため、雨が降ったらそのまま雨水を流すしかない。ダムで制御できない川は本当に恐ろしく、昔は土石流が松山平野を埋め尽くしている。松山平野とは基本的に土石流で埋まった谷であり、大量の雨が降ると怖い場所である。地域防災教育として教えることは、南海トラフ巨大地震は未曾有の災害であるということ。だから地域住民自ら命を守らなければならないし、地域防災リーダーを育てないといけない。そういうことを通して家族や地域を大切にす意識、災害弱者をいたわる意識を醸成しないと日本の未来は厳しいものになるだろう。

グループ討議で出された意見【一部抜粋】

- 重信川の氾濫や池の崩壊により、多様な被害を受ける可能性がある。
- 地域のコミュニティを作ること、すなわち「絆づくり」が大切。
- 現在の避難所だけでは住民全員は収容できないため、公民館や集会所、企業などに一時避難してはどうか。
- 災害によっては「危険な避難場所」も見受けられるため、災害に応じた避難場所を的確に把握する必要がある。
- 独居世帯や高齢者世帯の情報もなるべく把握することが、災害時の取り組みとして大事。
- 災害について地域住民同士で話し合い、顔見知りになることが必要。
- 学校の外で被災した際、小学校と中学校で避難場所が違っているため、統一する必要がある。
- 要支援者については、支援するためのネットワークを作ってはどうか。
- 地滑りに関しては防災マップを見ても危機感が感じられない。住民に危機感を持ってもらうためには防災マップに工夫が必要。
- 平日の日中は高齢者しかおらず、運転免許証を返納しているため、避難するにも移動手段が限られる。
- 身近な避難場所である集会所や公民館は概ね耐震性が低い。



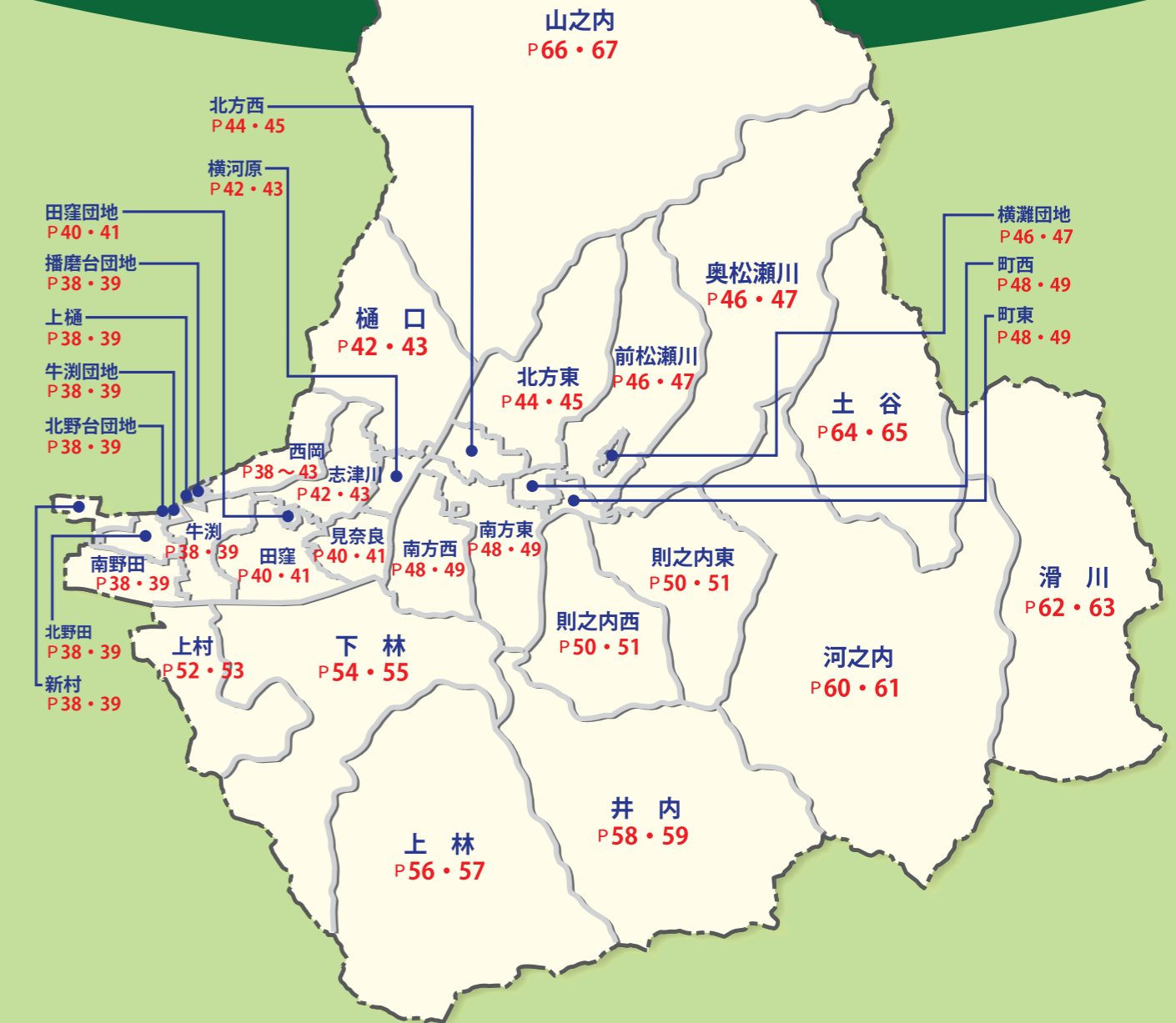
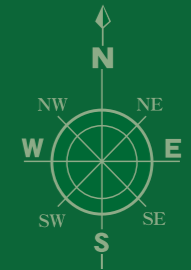
東温市総務部危機管理課より

市ではワークショップで出された意見を反映させながら、今回の「東温市防災マップ」を作成しました。その結果、従来のマップに比べ、実用性や視認性は格段に向上したと思います。地域の課題や要望に

ついては、一つ一つを真摯に受け止め、今後、専門家を交えて地域の方たちと一緒に解決策を検討していく所存です。今後も防災訓練への参加や情報提供など、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

地域ハザードマップ

地区ごとに避難所や危険箇所などを掲載しています。自宅周辺はもちろん、職場や学校周辺の状況も把握し、家族と情報を共有しておきましょう。実際にハザードマップを見ながら避難所まで歩き、危険箇所を確認しておくこと、いざというとき慌てません。



新村・北野田・南野田・牛淵北野台団地・牛淵団地・上樋・播磨台団地・西岡
 田窪・田窪団地・見奈良
 西岡・志津川・橋口・横河原
 北方南・北方東

前松清川・横河原団地・松山清川
 南方南・南方東・町西・町東
 則之内西・則之内東
 上村
 下林
 上林
 井内
 河之内
 清川
 土谷
 山之内

家族でチェック! わが家の緊急避難場所

番号	名称	田窪1100	牛淵1093	牛淵1625	野田1-19	野田3-3
10	南吉井小学校グラウンド	○	○	○	○	○
11	牛淵横畑公園	○	○	○	○	○
12	牛淵上野農村公園	○	○	○	○	○
13	ゆるぎ公園	○	○	○	○	○
14	てんじん公園	○	○	○	○	○



新市・北野田・南野田・牛淵・北野田台地・牛淵団地・上樋・播磨台団地・西岡
 田窪・田窪団地・見奈良
 西岡・志津川・橋口・横河原
 北方西・北方東

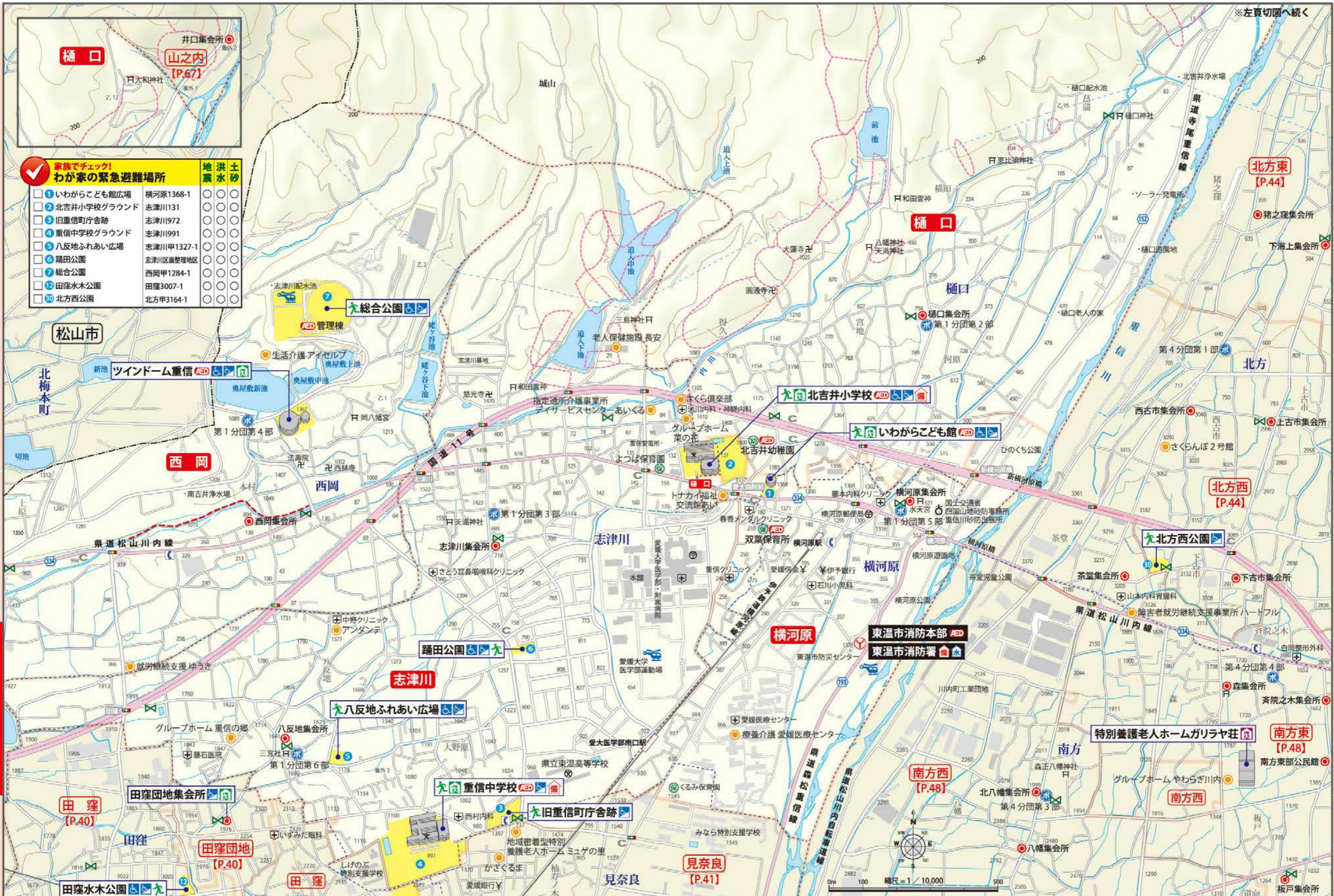


家族でチェック! わが家の緊急避難場所

番号	施設名	住所	地震	洪水	土砂
3	旧重信町庁舎跡	志津川1972	○	○	○
4	重信中学校グラウンド	志津川1991	○	○	○
5	八反地ふれあい広場	志津川甲1327-1	○	○	○
6	踊田公園	志津川区面整理地区	○	○	○
8	農林業者トレーニングセンター広場	田窪235	○	○	○
9	農村環境改善センター広場	田窪300-2	○	○	○
10	南吉井小学校グラウンド	田窪1100	○	○	○
11	中央公民館広場	田窪2370	○	○	○
12	田窪水木公園	田窪3007-1	○	○	○
14	牛淵上野農村公園	牛淵1625	○	○	○
18	下林集会所	下林甲1571	○	○	○
19	拝志小学校グラウンド	下林甲1585	○	○	○

新井・北野田・南野田・牛淵・北野田台地・牛淵台地・上福・福原台地・西岡
田窪・田窪台地・見奈良
西岡・志津川・樋口・横河原
北方西・北方東

前松浦川・横河原地・見奈良川
南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村・下林
井内
河之内
滑川
土谷
山之内



家族でチェック! わが家の緊急避難場所

施設名	住所	地震	洪水	土砂
1 いわがらこども館広場	横河原1368-1	○	○	○
2 北吉井小学校グラウンド	志津川1131	○	○	○
3 旧重信町庁舎跡	志津川972	○	○	○
4 重信中学校グラウンド	志津川991	○	○	○
5 八反地ふれあい広場	志津川甲1327-1	○	○	○
6 踊田公園	志津川区面整理地区	○	○	○
7 総合公園	西岡甲1284-1	○	○	○
12 田窪水木公園	田窪3007-1	○	○	○
30 北方西公園	北方甲3164-1	○	○	○

新村・北野田・南野田・牛淵・北野台団地・牛淵団地・上福・柳原台団地・西岡
田窪・田窪団地・見幸良
西岡・志津川・樋口・横河原
北方西・北方東

前松瀬川・横瀬団地・奥松瀬川
南方西・南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村
下林
上林
井内
河之内
滑川
土谷
山之内

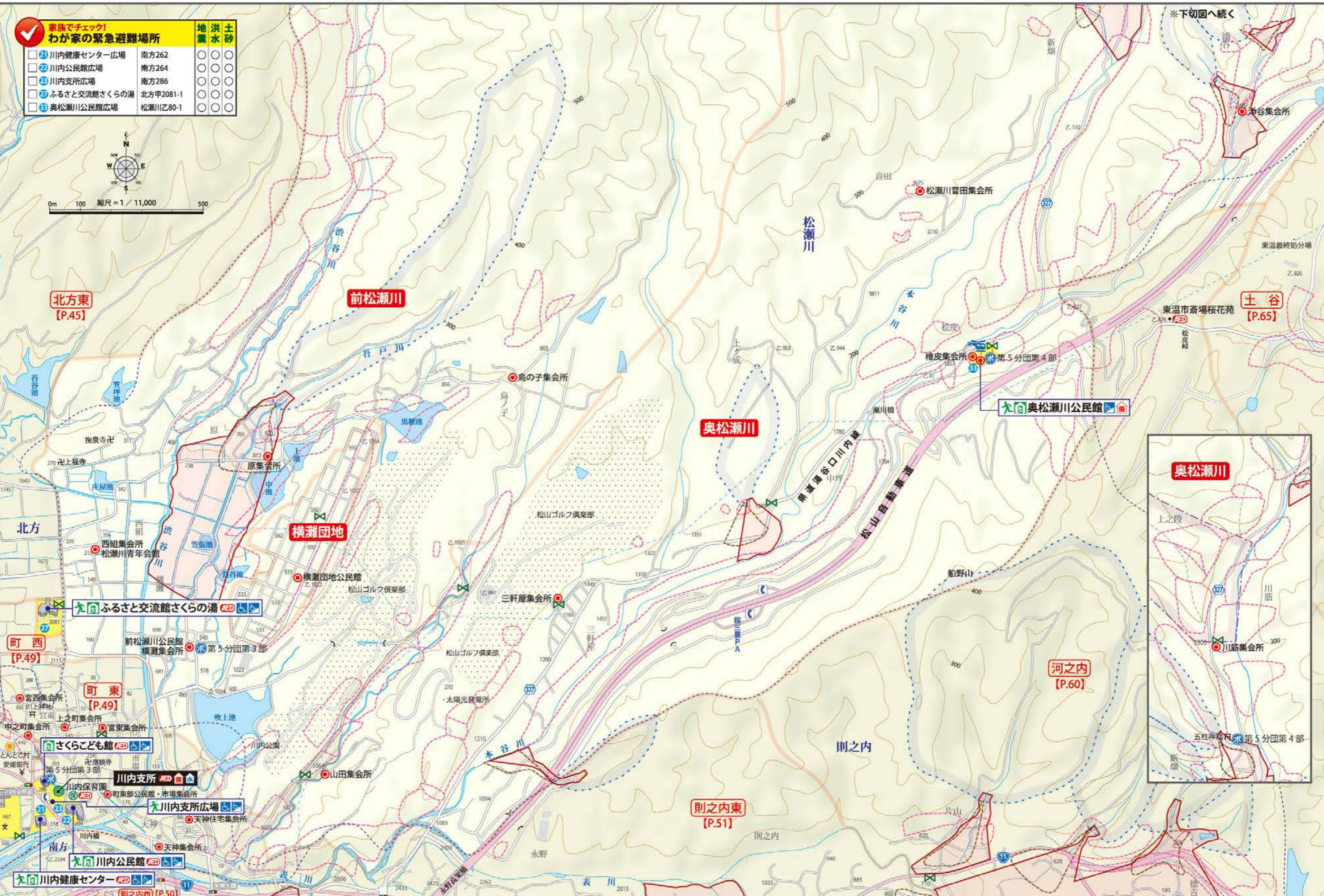


家族でチェック! わが家の緊急避難場所

避難場所	住所	地震	洪水	土砂
① ふるさと交流館さくらの湯	北方甲2081-1	○	○	○
② 川内体育センター広場	北方甲2314-2	○	○	○
③ 川上小学校グラウンド	北方甲2655	○	○	○
④ 北方西公園	北方甲3164-1	○	○	○

新村・北野田・南野田・牛瀬・北野台団地・牛瀬団地・上福・横瀬台団地・西岡
田窪・田窪団地・見幸良
西岡・志津川・樋口・横河原
北方南・北方東

前松瀬川・横瀬団地・奥松瀬川
南方・南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村・下林・上林・井内・河之内
滑川・土谷
山之内



家族でチェック! わが家の緊急避難場所

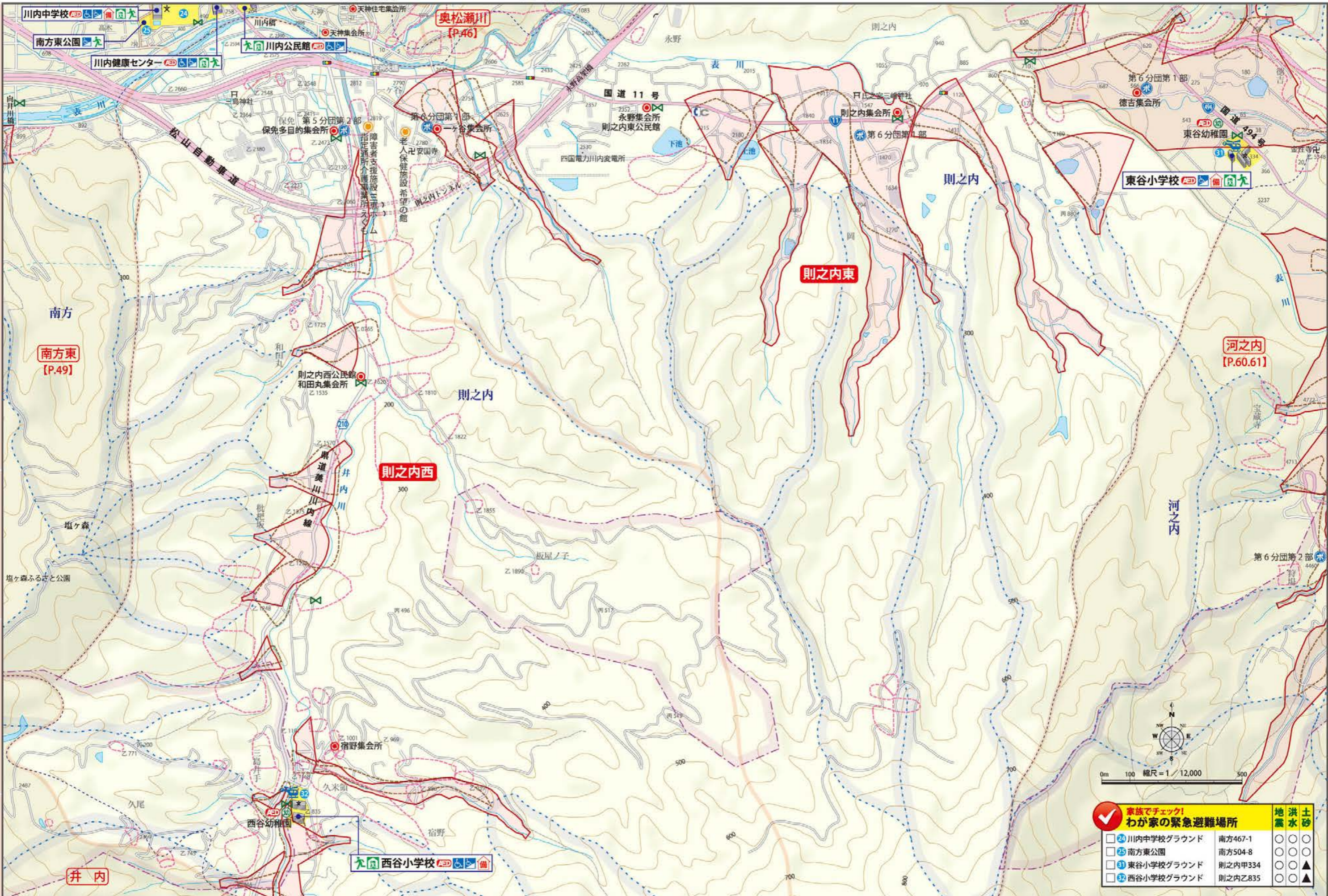
施設名	住所	地震	洪水	土砂
① 川内健康センター広場	南方262	○	○	○
② 川内公民館広場	南方264	○	○	○
③ 川内支所広場	南方286	○	○	○
④ ふるさと交流館さくらの湯	北方甲2081-1	○	○	○
⑤ 奥松瀬川公民館広場	松瀬川乙80-1	○	○	○





家族でチェック! わが家の緊急避難場所

避難場所	住所	地震	洪水	土砂
1 いわがらこども館広場	横河原1368-1	○	○	○
2 川内健康センター広場	南方262	○	○	○
3 川内公民館広場	南方264	○	○	○
4 川内支所広場	南方286	○	○	○
5 川内中学校グラウンド	南方467-1	○	○	○
6 南方東公園	南方504-8	○	○	○
7 くぼの泉公園	南方1166-1	○	○	○
8 ふるさと交流館さくらの湯	北方甲2081-1	○	○	○
9 川内体育センター広場	北方甲2314-2	○	○	○
10 川上小学校グラウンド	北方甲2655	○	○	○
11 北方西公園	北方甲3164-1	○	○	○



新村・北野田・南野田・牛淵・北野台団地・牛淵団地・上福・播磨台団地・西岡
田窪・田窪団地・見幸良
西岡・志津川・樋口・樋河原
北方南・北方東

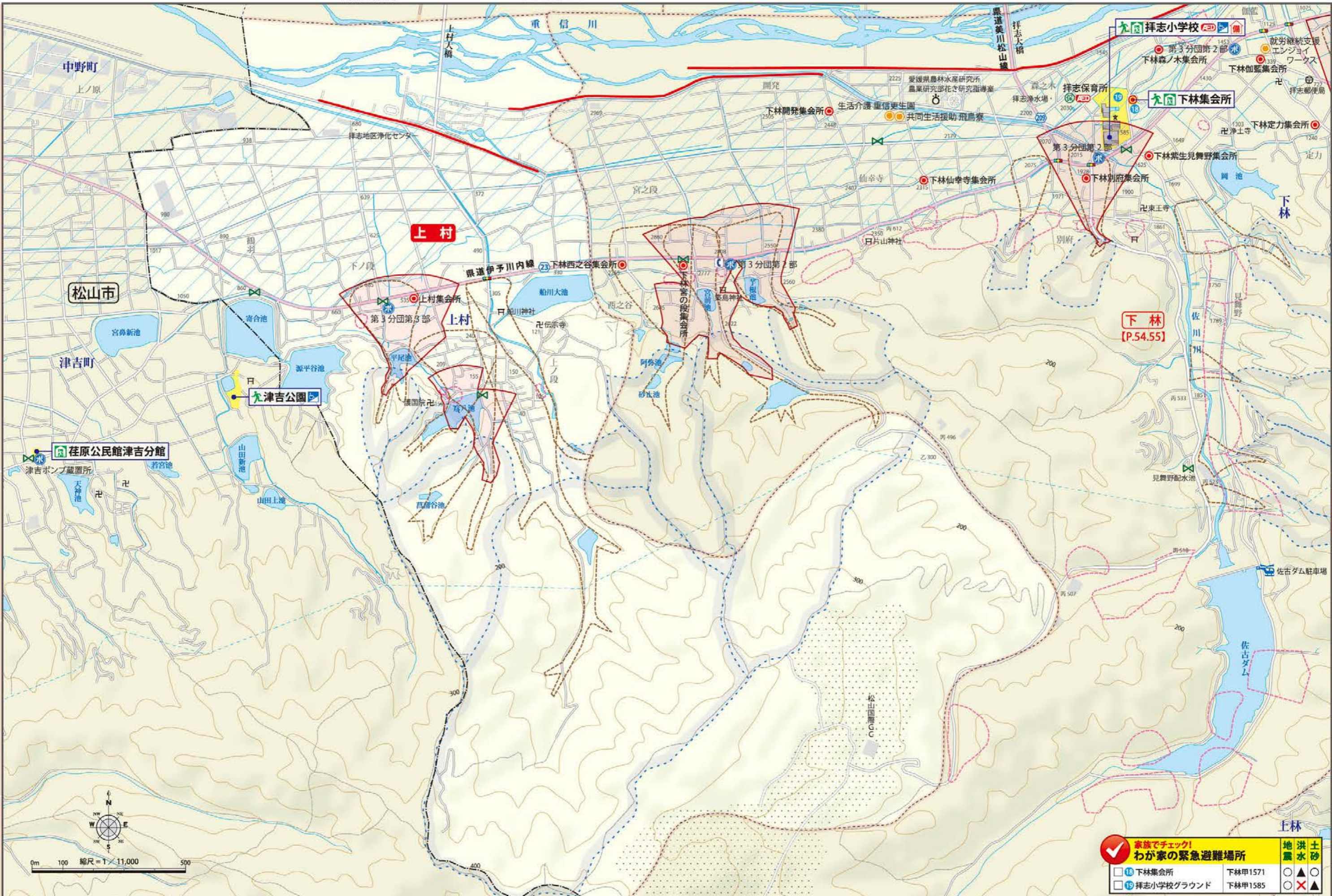
前松瀬川・横道団地・奥松瀬川
南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村
下林
上林
井内
河之内
滑川
土谷
山之内

家族でチェック! わが家の緊急避難場所

<input type="checkbox"/> 川内中学校グラウンド	南方467-1	地震	洪水	土砂
<input type="checkbox"/> 南方東公園	南方504-8	○	○	○
<input type="checkbox"/> 東谷小学校グラウンド	則之内甲334	○	○	▲
<input type="checkbox"/> 西谷小学校グラウンド	則之内乙835	○	○	▲

新村・北野田・南野田・牛淵・北野田台地・牛淵台地・上福・柳原台地・西岡
田窪・田窪台地・見幸良
西岡・志津川・樋口・横河原
北方南・北方東

前松清川・横道台地・堤松清川
南方・南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村
下林
上林
井内
河之内
滑川
土谷
山之内

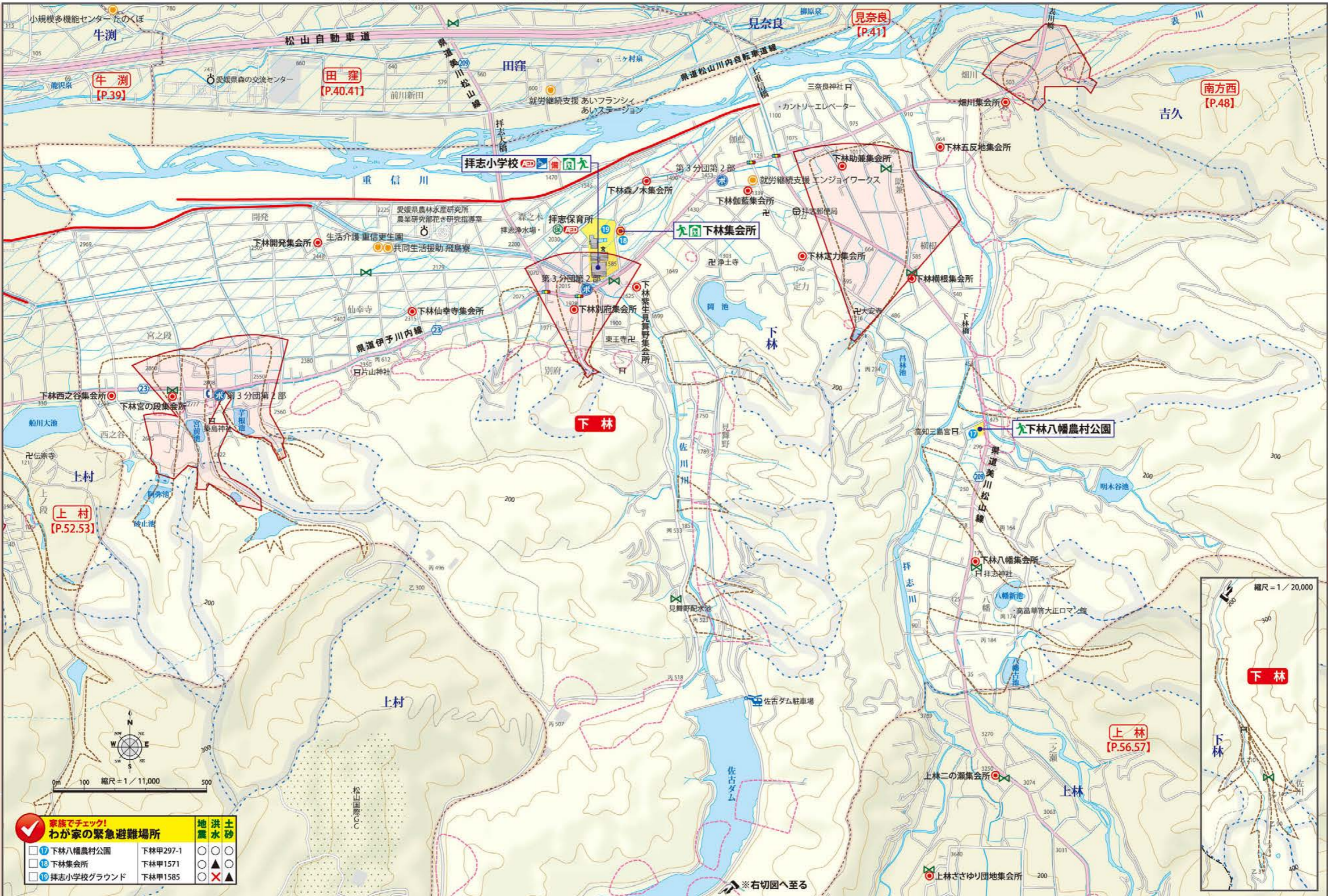


家族でチェック! わが家の緊急避難場所

下林集会所	下林甲1571	下林小学校グラウンド	下林甲1585
-------	---------	------------	---------

地洪水土
震水砂

○…避難可(空地などのため原則利用可能)
○…避難可(浸水想定区域外)
▲…避難可(ただし浸水想定区域内なので1階は不可)
×…避難不可(浸水想定区域内)
○…避難可(土砂災害危険箇所外)
▲…避難可(一部危険箇所または警戒区域内は不可)
×…避難不可(危険箇所または警戒区域内)



新村・北野田・南野田・牛淵・北野台回地・牛淵回地・上福・柳原台回地・西岡
田窪・田窪回地・見奈良
西岡・志津川・樋口・樋河原
北方南・北方東

前松瀬川・横道回地・奥松瀬川
南方・南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村
下林
上林
井内
河之内
滑川
土谷
山之内

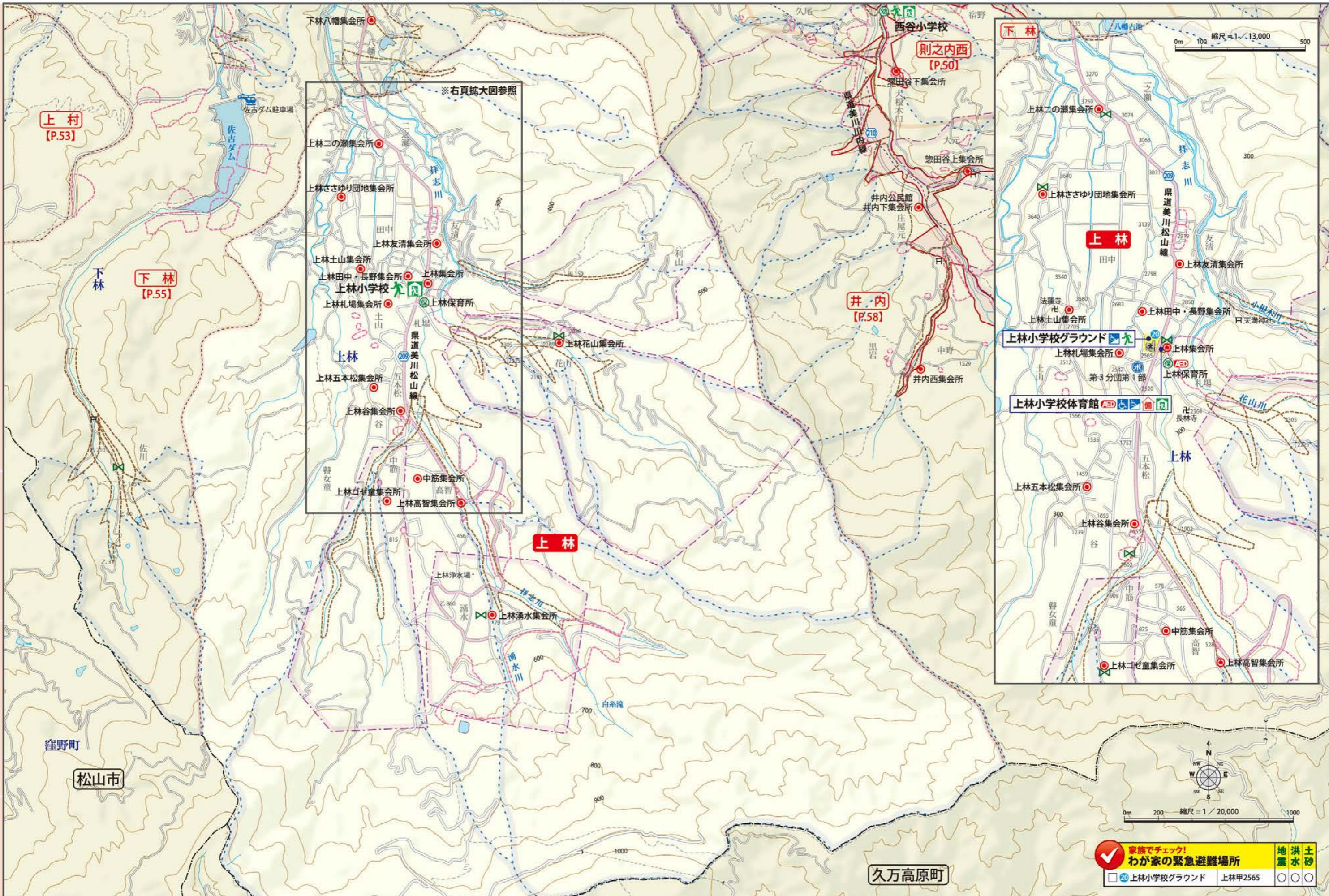
**家族でチェック！
わが家の緊急避難場所**

17 下林八幡農村公園	下林甲297-1	地震	○
18 下林集会所	下林甲1571	洪水	○
19 拝志小学校グラウンド	下林甲1585	土砂	○



新村・北野田・南野田・牛淵・北野台回地・牛淵回地・上福・柳原台回地・西岡
田窪・田窪回地・見幸良
西岡・志津川・樋口・横河原
北方南・北方東

前松清川・横道回地・奥松清川
南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村
下林
上林
井内
河之内
清川
土谷
山之内



※右頁拡大図参照

上林二の瀬集会所
上林ささゆり団地集会所
上林友清集会所
上林土山集会所
上林田中・長野集会所
上林小学校
上林札場集会所
上林保育所
上林五本松集会所
上林谷集会所
上林五本松集会所
上林高智集会所

下林
上林
井内

上林二の瀬集会所
上林ささゆり団地集会所
上林友清集会所
上林田中・長野集会所
上林小学校グラウンド
上林札場集会所
上林保育所
上林五本松集会所
上林谷集会所
上林高智集会所

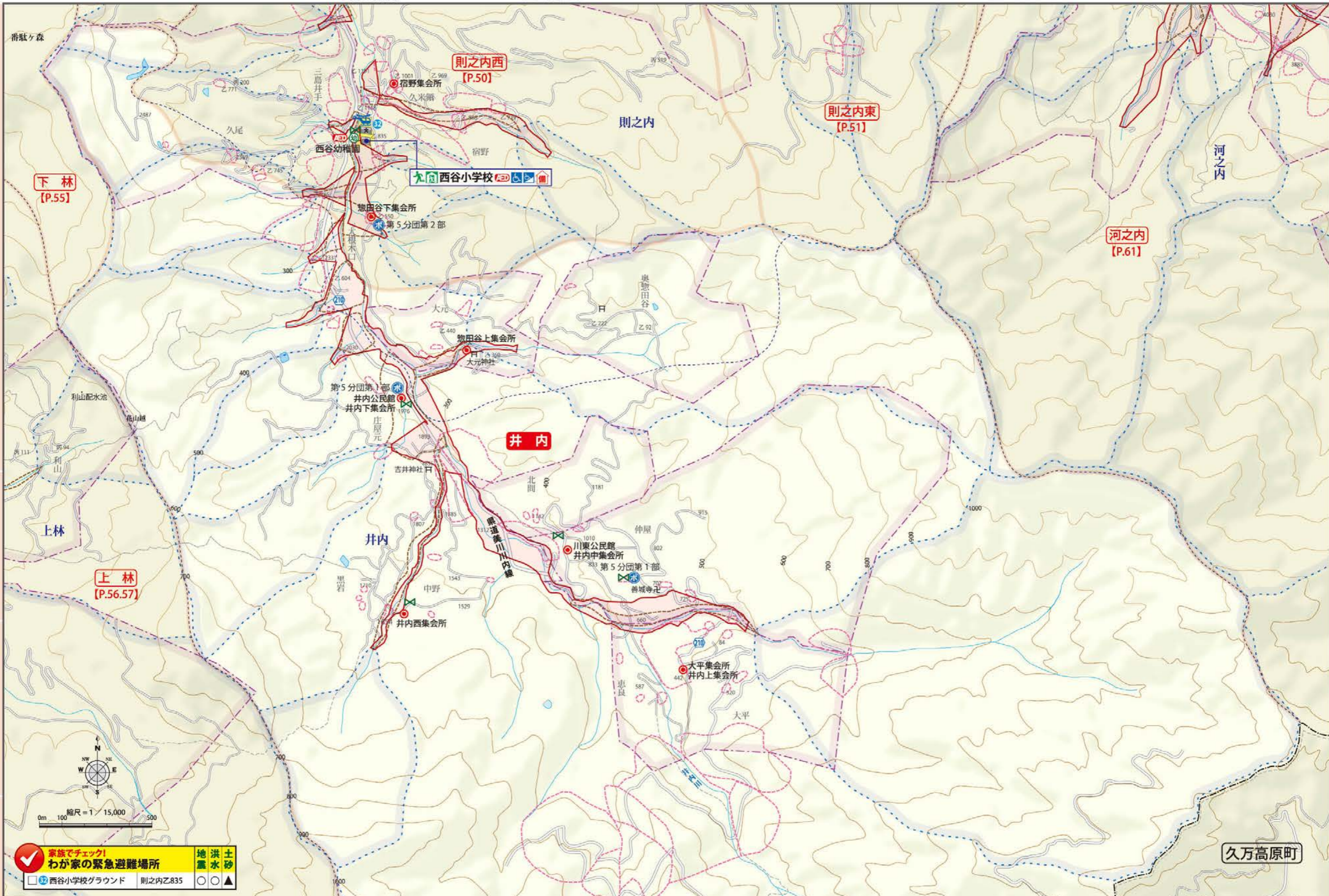


家族でチェック! わが家の緊急避難場所	地震	洪水	土砂
上林小学校グラウンド	上林甲2565	○	○

55	50	51	指定緊急避難場所	市役所・支所	集会所	AED設置箇所	防災行政無線(広報サイレン)	消防団ポンプ設置所	信号	交差点名	銀行	郵便局	急傾斜地崩壊危険箇所	土石流危険区域	ため池・河川等	50	51	61
56	58	59	指定避難所	消防署	幼稚園	備蓄倉庫	主な医療機関	身体障がい者用トイレ	国道	県道	神社	寺院	地すべり危険箇所	土石流危険渓流域	河川重要水防区域(県)	58	59	61
56	57		福祉避難所	交番	保育園	水防倉庫	行政区界(概略)	スロープ有・段差無	緊急輸送道路	コンビニエンスストア			土砂災害(土石流)警戒区域(特別警戒区域は県HP参照)	重信川浸水想定区域	河川重要水防区域(国)	57		
				主な官公庁	介護・福祉施設	公衆電話(屋外24h使用可)	町丁目字界	緊急時離着陸場										

新村・北野田・南野田・牛淵・北野台団地・牛淵団地・上福・柳原台団地・西岡
田窪・田窪団地・見幸良
西岡・志津川・樋口・樋河原
北方南・北方東

前松瀬川・横道団地・奥松瀬川
南方南・南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村
下林
上林
井内
河之内
滑川
土谷
山之内



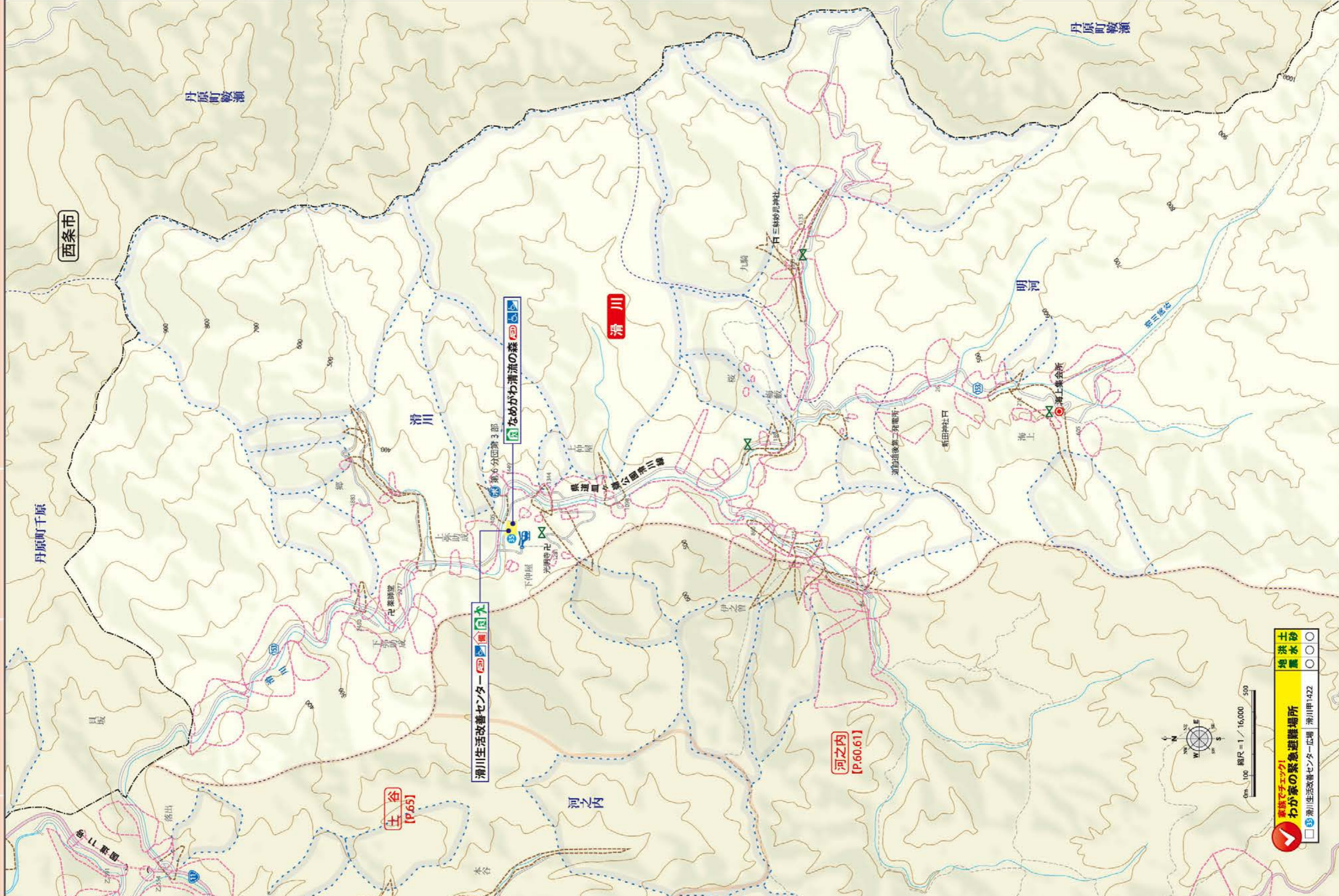
家族でチェック! わが家の緊急避難場所

西谷小学校グラウンド
 則之内乙835

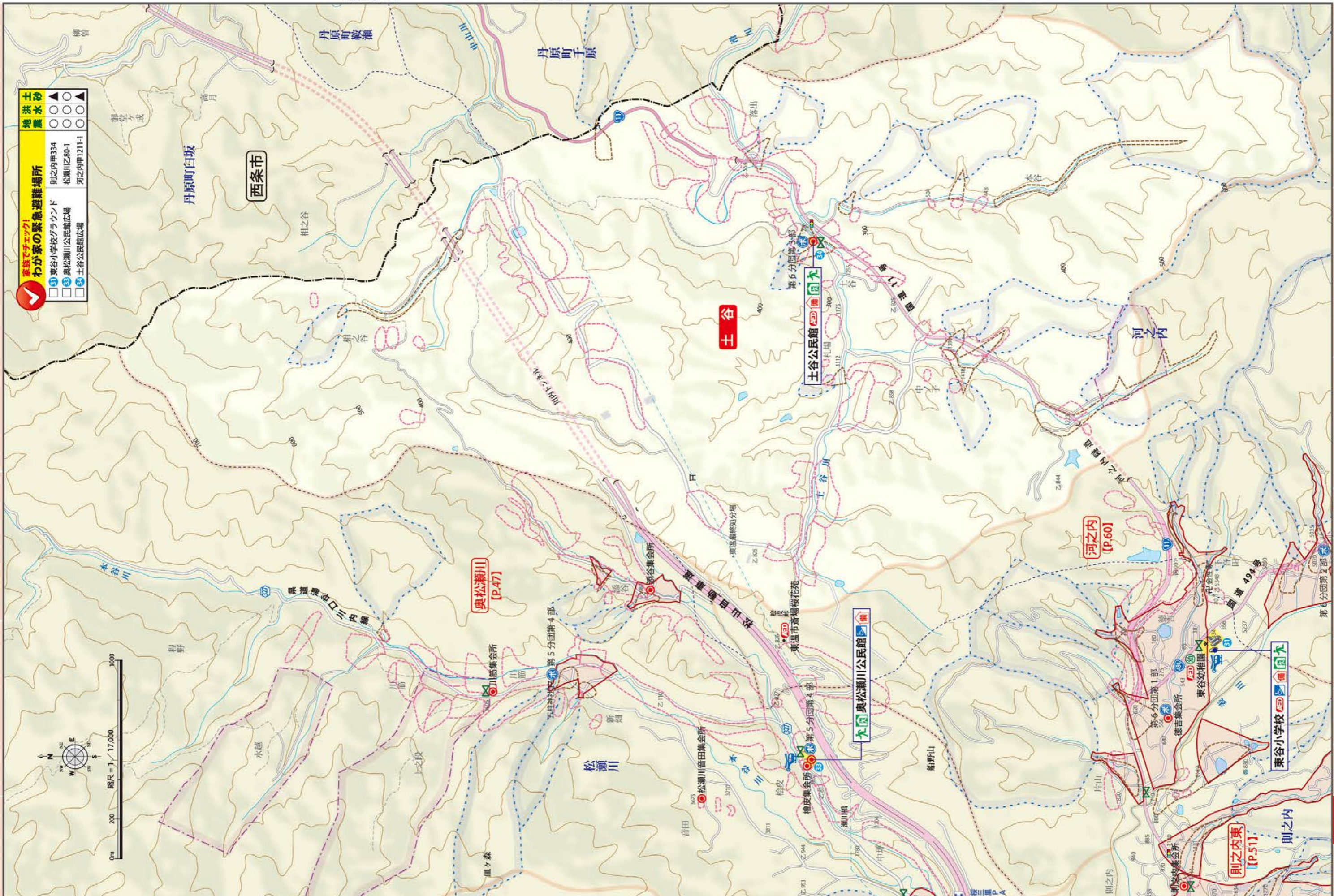
地震 洪水 土砂
 ○…避難可(空き地などのため原則利用可能)
 ○…避難可(浸水想定区域外) ▲…避難可(ただし浸水想定区域内なので1階は不可)
 ×…避難不可(浸水想定区域内) 土砂 ○…避難可(土砂災害危険箇所や警戒区域外) ▲…避難可(一部危険箇所または警戒区域内は不可) ×…避難不可(危険箇所または警戒区域内)

新井・北野田・南野田・牛湖・北野台回地・牛湖回地・上瀬・瀬原台回地・西河
田窪・田窪回地・見幸反
西河・津津川・樋口・樋河原
北方南・北方東

前松滑川・横道回地・奥松滑川
南方西・南方東・町西・町東
則之内西・則之内東
上村
下林
上林
井内
河之内
滑川
土谷
山之内

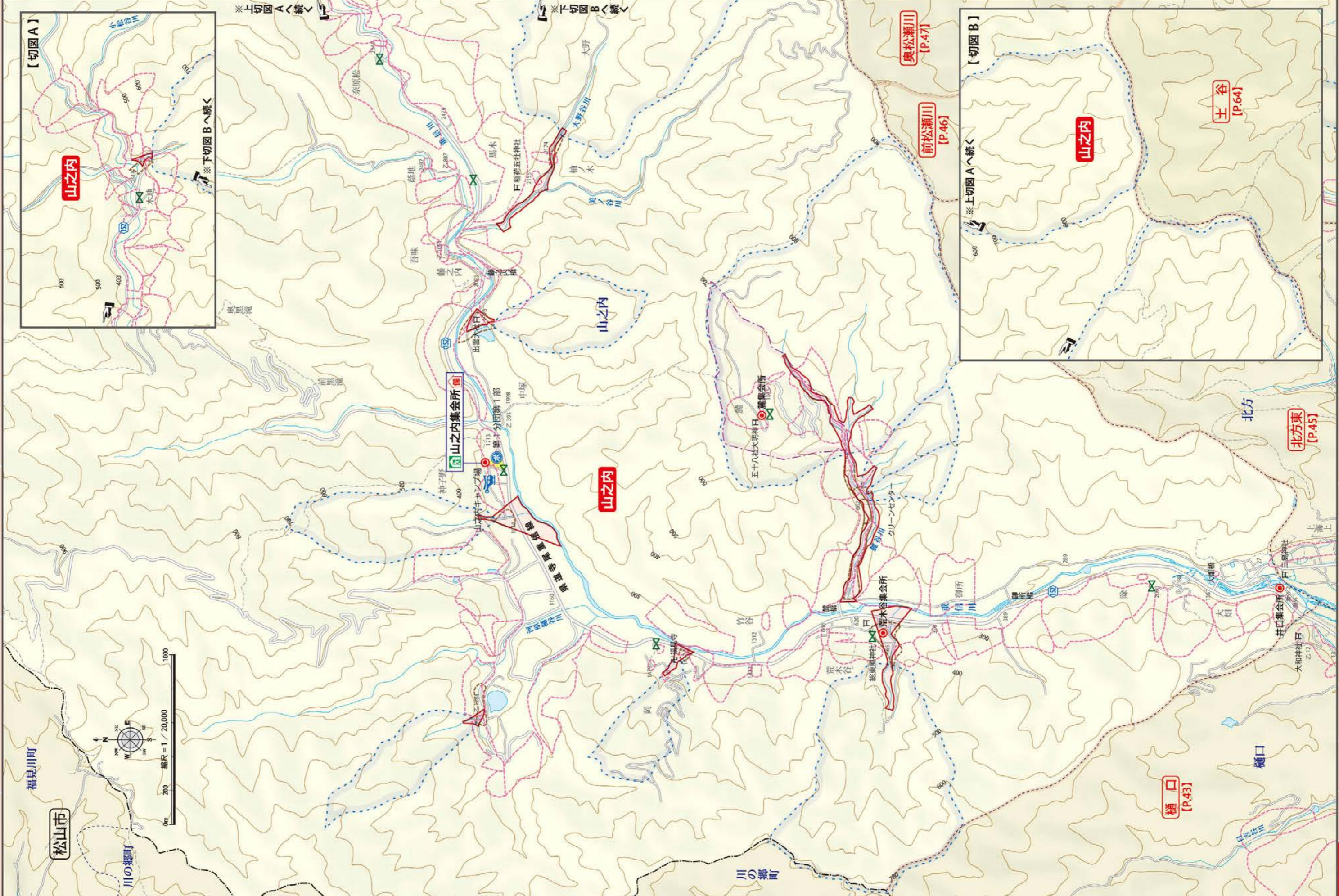


家族でチェック!
わが家の緊急避難場所
 滑川生活改善センター広場 滑川甲1422
 土砂
 洪水
 地震



家族でチェック!
わが家の緊急避難場所

東谷小学校グラウンド	則之内甲334	土砂
奥松瀬川公民館広場	松瀬川乙80-1	洪水
土谷公民館広場	河之内甲1211-1	地震



洪水(氾濫)ハザードマップ 浸水想定区域図



重信川浸水想定区域(浸水深凡例)

浸水深0.5m未満の区域
Flood water depth under 0.5 meters
浸水深在未満0.5m的区域
침수 깊이 0.5m미만의 구역

浸水深0.5~1.0m未満の区域
Flood water depth from 0.5 to under 1.0 meters
浸水深在0.5~未満1.0m的区域
침수 깊이 0.5m~1.0m미만의 구역

浸水深1.0~2.0m未満の区域
Flood water depth from 1.0 to under 2.0 meters
浸水深在1.0~未満2.0m的区域
침수 깊이 1.0m~2.0m미만의 구역

浸水深2.0~5.0m未満の区域
Flood water depth from 2.0 to under 5.0 meters
浸水深在2.0~未満5.0m的区域
침수 깊이 2.0m~5.0m미만의 구역

大洪水で河川の堤防が壊れてしまった場合には洪水氾濫等により大きな被害を受けることが予想されます。事前に河川の氾濫に関する情報を市民の方々に提供し、自分の住んでいる地域の洪水氾濫による浸水被害の認識を深めていただき、水防・避難活動などに活用していただきたいと思います。

(1) この図は、重信川水系重信川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定された水深その他を示したものです。

(2) この浸水想定区域等は、指定時点の重信川の河道の整備状況等を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる降雨である概ね150年に1回程度起こる大雨が降ったことにより浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(3) なお、このシミュレーションに当たっては、支川のはん濫、想定を越える降雨、内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

※この図は国土交通省四国地方整備局松山河川国道事務所の作成した重信川水系重信川の浸水想定区域図を使用したものです。



いざというときの連絡先

● **消防(火災・救急・救助) 119**
● **災害伝言用ダイヤル 171**

● **警察(緊急) 110**

⇒ 使い方については30P参照

施設名	所在地	電話	掲載頁
東温市役所(代表)	見奈良530-1	964-2001	41
東温市災害対策本部(設置時)	見奈良530-1	964-2001	41
東温市消防署	横河原1376	964-5210	43
東温市川内支所	南方286	966-2222	49
松山南警察署	松山市北土居3-6-17	958-0110	
【国道】国土交通省 松山第一国道維持出張所	松山市東石井4-18-14	956-0326	

施設名	所在地	電話	掲載頁
【県道】愛媛県中予地方局建設部 道路第二課	松山市北持田町132	909-8776	
【市道】東温市役所建設課	見奈良530-1	964-4472	41
【電力】四国電力株松山支店 愛媛集中受付センター	松山市湊町6-6-2	0120- 410-452	
【固定電話】 NTT西日本(故障受付)		113	

医療機関

施設名	所在地	電話	掲載頁
生島眼科	野田2-103-3	960-5000	38
いのうえ小児科	野田2-485-1	955-0055	38
こばやし内科クリニック	野田2-102-2	960-5311	38
たけもと整形外科クリニック	野田2-100-2	955-5888	38
ハートレディースクリニック	野田2-100-1	955-0082	38
西野内科クリニック	牛淵1073	964-2200	39
訪問診療クリニック六花	牛淵331-1	948-4677	39
八木耳鼻咽喉科・皮膚科医院	牛淵1156-1	964-5400	39
石川眼科	田窪1495-1	955-5558	40
いずみだ眼科	田窪2228-1	955-0080	40
辻井循環器科内科	田窪2030	964-0013	40
西本整形外科	田窪303-1	964-1611	40
愛媛大学医学部附属病院	志津川	964-5111	42・43
さとう耳鼻咽喉科クリニック	志津川1560-1	990-1133	42

施設名	所在地	電話	掲載頁
中野クリニック	志津川1577-1	960-5800	42
西村医院	志津川999-6	964-2461	42
藤石医院	志津川1843-1	964-1234	42
池川内科・神経内科	志津川89-3	964-7787	43
石川小児科	横河原337-1	955-0333	43
愛媛医療センター	横河原366	964-2411	43
重信クリニック	志津川246-6	964-1188	43
春香メンタルクリニック	志津川179-14	993-7710	43
藤本内科クリニック	横河原1301-3	960-5500	43
泉内科	南方1595-2	966-2226	48
白岡整形外科	北方2880-1	960-6555	48
山本内科胃腸科	北方3205-3	966-2066	48
愛媛十全医療学院附属病院	南方561	966-5011	49

わが家の避難場所・連絡先リスト

避難場所		家族が離ればなれになったときの集合場所				
家族の名前	連絡先(勤務先・学校など)	携帯番号	生年月日	血液型	保険証番号	備考
緊急連絡先	電話番号	ご近所さんのお名前		電話番号		
病院()						
ガス会社						
電気会社						
水道						

〔編集・発行〕東温市役所総務部危機管理課
〒791-0292 愛媛県東温市見奈良530番地1
TEL 089-964-4483 FAX 089-964-1609

〔協力機関〕愛媛大学防災情報研究センター [印刷・製本] セキ株式会社 平成28年3月
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び数値地図(国土基本情報20万)を使用した。(承認番号 平27情使、第1036号)

